

EPSON

dreamio™

Home Projector EMP-TW200H

取扱説明書



お使いになる前に

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。本製品を安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアル類をよくお読みください。不明な点はいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。

説明書の構成と表示の意味

各説明書の使い方

本機の説明書は、次の4冊で構成されています。以下の順番でお読みください。

① はじめにお読みください

本製品の同梱品を記載しています。

② 安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内

本製品を安全にお使いいただくための注意事項とサポート・サービスのご案内、トラブルチェックシートなどが記載されています。

使い始める前に、必ずご覧ください。

③ セットアップガイド

本機を使い始めるまでの準備（設置・ビデオ機器やコンピュータとの接続）と投写開始時の基本操作について記載しています。

④ 取扱説明書（本書）

お好みの画質に調整する方法、環境設定メニューの使い方、Cinema Color Editorの使い方、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。

説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

 注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
 ポイント	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。 「付録 用語解説」をご覧ください。  p.45
  など	リモコン、または操作パネルのボタンを示しています。
「(メニュー名)」	環境設定メニューの項目を示しています。 例: 「映像」→「カラーモード」
[(名称)]	本機の接続端子名や、コンピュータのメニューや項目名を示しています。 例: [InputA] [スタート]

「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほか、同梱品や別売品も含まれる場合があります。

目次

■本機の特長	2	リモコン	5
■各部の名称と働き	4	背面	6
前面/上面	4	底面	6
本体操作パネル	4	■外形寸法図	7

お好みの画質に調整する

■画質の調整をしよう	8	■登録した画質で映像を見よう (メモリー機能)	12
映り具合を選ぶ(カラーモード)	8	画質の登録(メモリー登録)	12
ワイド画面で映像を投写する(アスペクト)	8	登録した画質の呼び出し(メモリー呼び出し)	12
■こだわりの色調整をしよう	10		
色温度/肌の色の調整	10		
RGBの調整	10		

環境設定メニュー

■環境設定メニューの機能	14	設定メニュー	17
環境設定メニュー一覧	14	初期化メニュー	20
映像メニュー	16	環境設定メニューの操作	21

コンピュータから投写映像を調整しよう

■Cinema Color Editorを使うための準備	22	コンピュータでらくらく操作	24
Cinema Color Editorのインストール	22	色相・彩度の調整	24
Cinema Color Editorのアンインストール	23	調整値の保存/ファイルから設定	25
コンピュータと接続する	23	こだわりの設定をメモリーに登録しよう	26
■Cinema Color Editorの使い方	24	メモリーの保存/読み込み/メモリー名の編集	26
Cinema Color Editorを起動する	24		

困ったときに

■故障かなと思ったら	28	インジケータを確認してもわからないとき	29
インジケータの見方	28	・映像に関するトラブル	29
・⚠(異常/警告)インジケータ 点灯・点滅時	28	・投写開始時のトラブル	33
・⓪(オペレーション)インジケータ 点灯・点滅時	28	・リモコンでのトラブル	33

付録

■お手入れの方法	34	■液晶パネル調整の方法	38
各部の掃除	34	■オプション品一覧	39
・エアーフィルタの掃除	34	■対応解像度一覧	40
・本体の掃除	34	・コンポーネントビデオ	40
・レンズの掃除	34	・コンポジットビデオ/S-ビデオ	40
消耗品の交換時期	35	・RGBビデオ/コンピュータ	41
・エアーフィルタの交換時期	35	■仕様一覧	42
・ランプの交換時期	35	Cinema Color Editorの動作可能なコンピュータ	43
消耗品の交換	36	RS-232Cケーブル配線	43
・エアーフィルタの交換方法	36	■用語解説	45
・ランプの交換方法	36	■索引	47
・ランプ点灯時間初期化	36		

お好みの画質に
調整する

環境設定メニュー

コンピュータから
投写映像を調整しよう

困ったときに

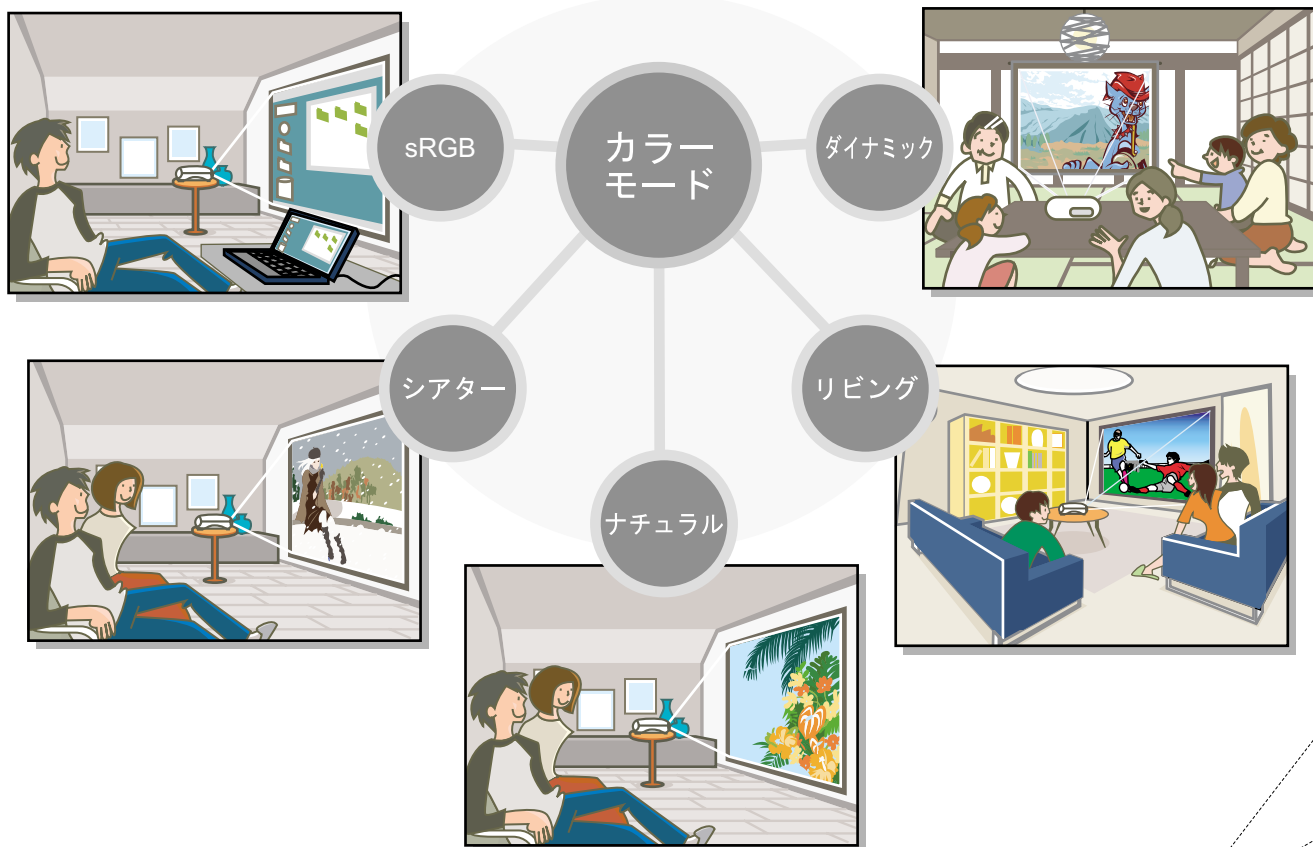
付録

▶ ご覧になるお部屋や映像に合わせた映り具合の選択 (カラーモード)

あらかじめ登録されている次の5つの設定から、使用シーンに応じて画質を選択するだけで最適な映像を投写。面倒なカラー調整は不要。

「シアター」「ナチュラル」「sRGB」を選択すると、自動的にエプソンシネマフィルタが装着され、映像全体がしまり、人物の肌の色もより自然な色合いになります。

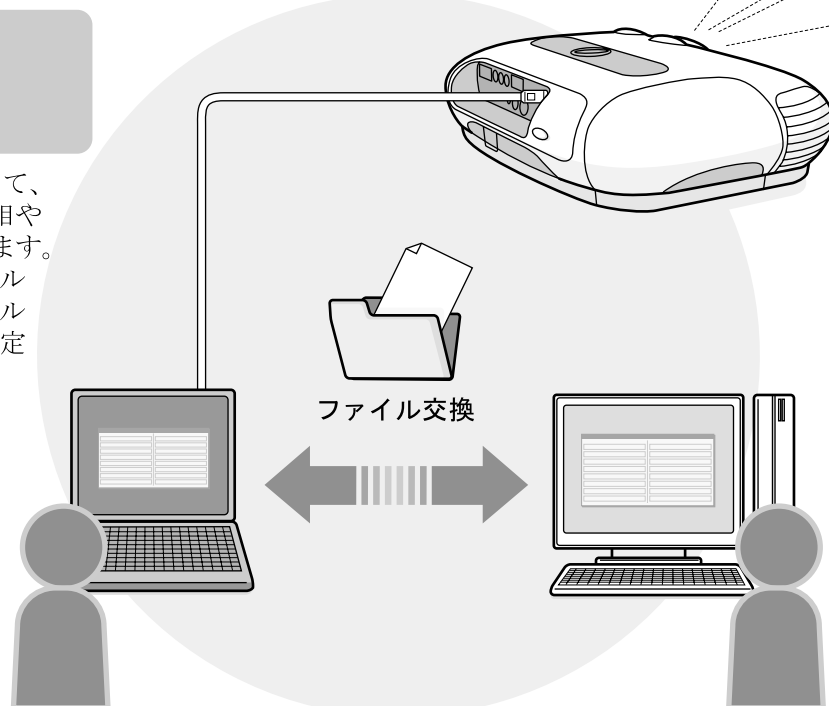
また、「リビング」を選択すると、白黒伸張機能が働き、暗い部分や明るい部分がよりハッキリ再現されて立体感のある映像になります。📖 p.8



▶ コンピュータから 簡単画質調整

同梱の「Cinema Color Editor」を使って、コンピュータから投写映像の色相や彩度といった繊細な色調整ができます。調整値はコンピュータのファイルとしても保存できるので、ファイルを友人と交換して自慢の映像設定を見せ合うこともできます。

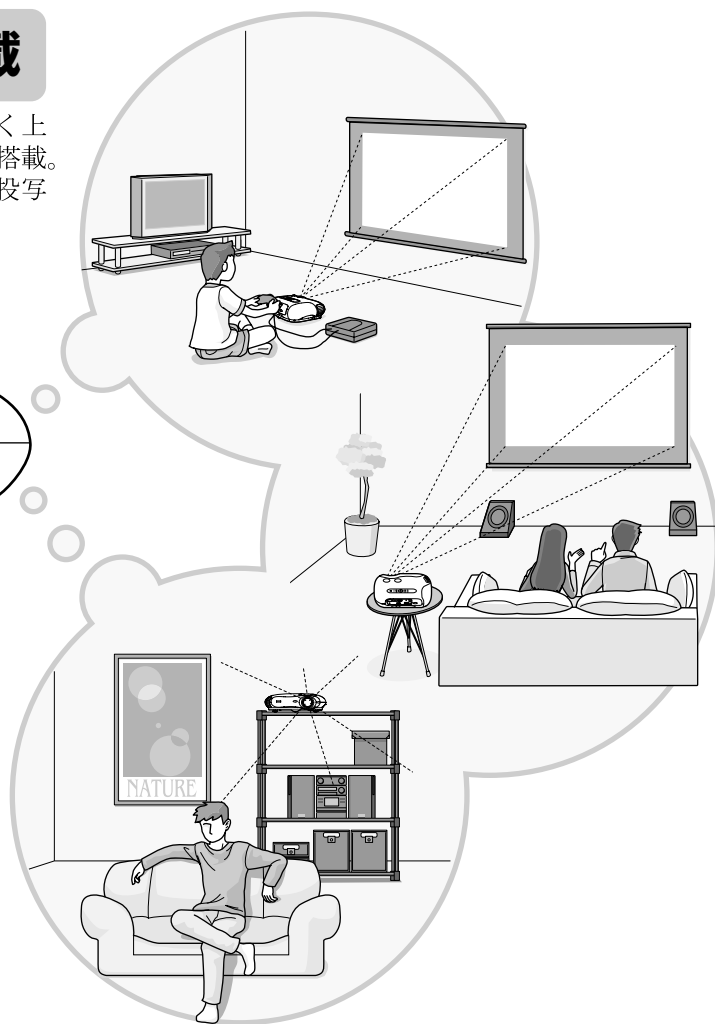
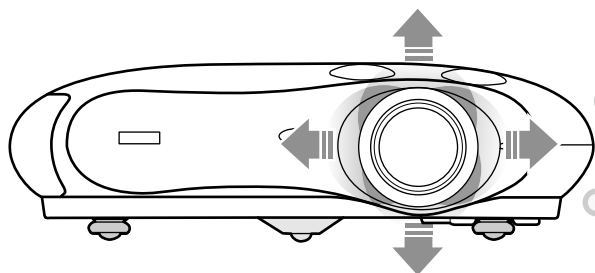
📖 p.22



▶ 広角レンズシフトを搭載

投写映像の位置を、映像をゆがめることなく上下・左右に調整できるレンズシフト機能を搭載。天吊りにしたり、スクリーンのサイドから投写したり設置場所を選びません。

🔗『セットアップガイド』



▶ 広範囲の輝度調整

映像の明るさを広範囲で調整できます。明るい部屋でビデオやゲームを楽しむときも、部屋を暗くして本格的にホームシアターを楽しみたいときも、最適な映像をご覧いただけます。🔗 p.14

▶ 電動ズーム/電動フォーカス調整

本体の操作パネルやリモコンを使って簡単にズーム調整・ピント調整できます。ビデオ機器などを接続していなくても、調整画面が表示されるので調整できます。1.5倍まで映像を拡大できる高倍率レンズを搭載しているので、6畳間で100型の大画面(16:9のスクリーンの場合)へ投写することもできます。

🔗『セットアップガイド』

▶ 映像に合わせて設定できる豊富な機能

その他にも、以下のような多彩な機能があります。

- 動きの大きい映像や静止画などをご覧になる場合に最適な「プログレッシブ」変換 🔗 p.17
- ワイド映像をご覧いただけるアスペクト機能 🔗 p.8
- 調整した結果を登録しておき、リモコンのボタンで簡単に呼び出すことができるメモリー機能 🔗 p.12
- 調整後、誤って変更しないように本機の操作パネルをロックしたり、お子様が本機の電源を入れ、誤ってレンズをのぞかないようにするロック設定 🔗 p.19

各部の名称と働き

前面 / 上面

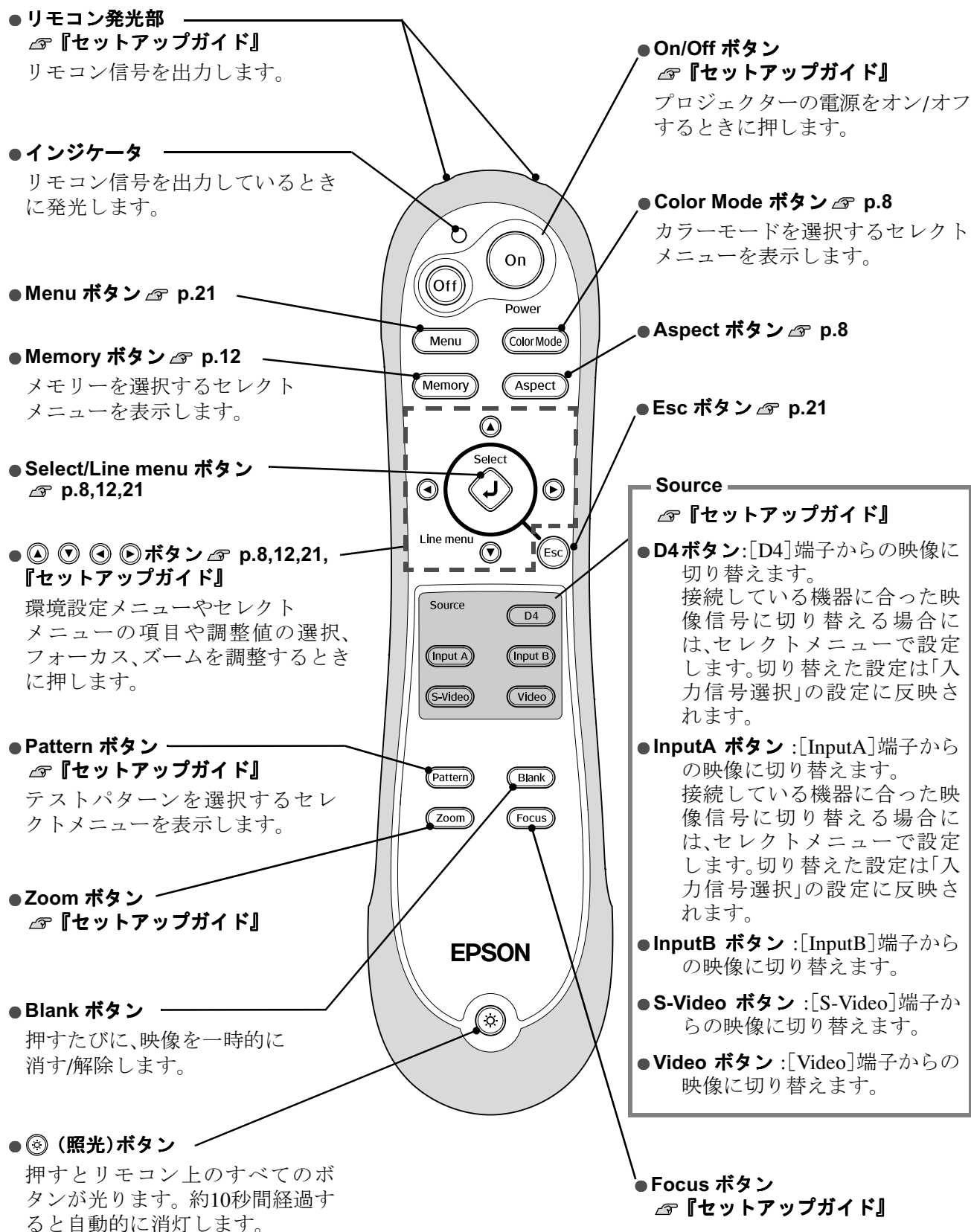
- **操作パネル** ㊦ 下記参照
- **ランプカバー** ㊦ p.36
ランプの交換時にこのカバーを開けて、中のランプを交換します。
- **排気口**
- **リモコン受光部**
㊦ 『セットアップガイド』
リモコン信号を受信します。
- **上下レンズシフトダイヤル**
㊦ 『セットアップガイド』
投写レンズを上下に移動します。
- **左右レンズシフトダイヤル**
㊦ 『セットアップガイド』
投写レンズを左右に移動します。
- **レンズカバー**
本機を使用しないときに装着し、レンズが傷ついたり汚れたりするのを防ぎます。
- **フロントフット**
㊦ 『セットアップガイド』
机上に設置したとき、水平の傾きを調整するときに伸ばします。

本体操作パネル

- **Focus ボタン**
㊦ 『セットアップガイド』
投写レンズの焦点を調整するときに押します。
- **⏻ (オペレーション)インジケータ**
㊦ p.28
本機の動作状態を色や点灯・点滅で示します。
- **⚠ (異常 / 警告)インジケータ** ㊦ p.28
本機に発生した異常を色や点灯・点滅で示します。
- **Power ボタン**
㊦ 『セットアップガイド』
電源をオン/オフするときに押します。
- **Zoom ボタン** ㊦ 『セットアップガイド』
投写映像のサイズを調整するときに押します。
- **Menu ボタン** ㊦ p.21
押すたびに環境設定メニューのフルメニューを表示/終了します。
- **Source ボタン**
㊦ 『セットアップガイド』
映像ソースを選択するセレクトメニューを表示します。
- **Aspect ボタン** ㊦ p.8
アスペクトを選択するセレクトメニューを表示します。
- **Esc ボタン** ㊦ p.21
環境設定メニューやセレクトメニュー表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。
- **Select/Line menu ボタン**
㊦ p.8,10,12,21
ラインメニューを表示します。
環境設定メニューやセレクトメニュー表示中は、メニュー項目などを選択し、次に進むときに押します。
- **⬆ / ⬇ / ⬅ / ⬅ ボタン** ㊦ p.8,12,21, 『セットアップガイド』
環境設定メニューやセレクトメニュー表示中は、項目を選択する上下ボタンとして使います。
上記メニューが表示されていないときは、台形ゆがみを補正します。
- **⬅ / ➡ ボタン** ㊦ p.21, 『セットアップガイド』
環境設定メニューの調整値の選択や、フォーカス、ズームを調整するときに押します。

リモコン

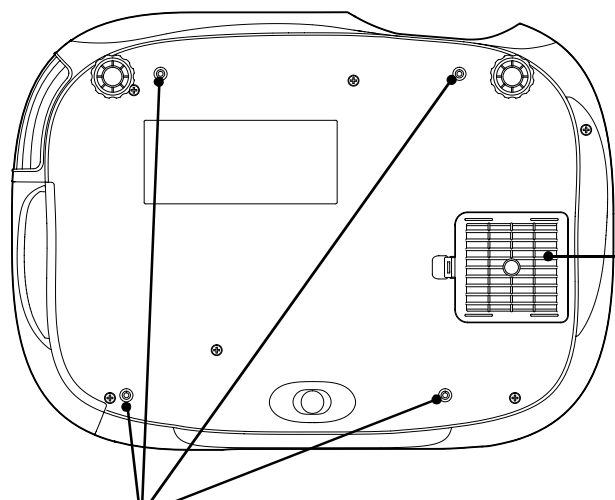
説明のないボタンは、本体操作パネルに同じボタンがあります。そちらをご覧ください。



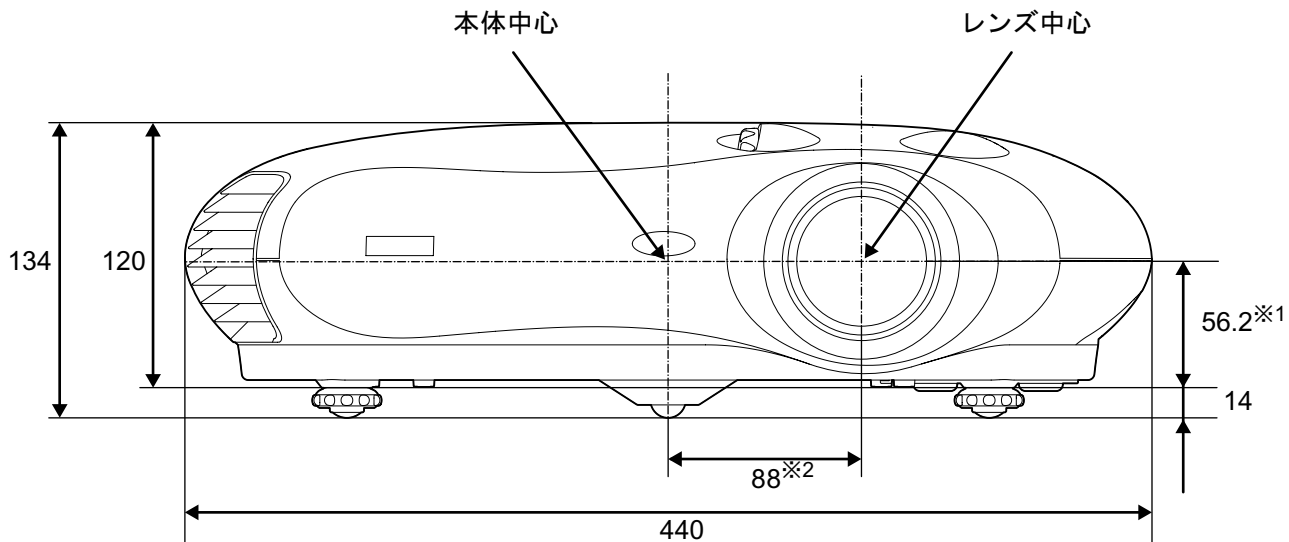
背面

- **[S-Video]端子** ㊦『セットアップガイド』
ビデオ機器のS-ビデオ端子と接続します。
- **[InputB]端子** ㊦『セットアップガイド』
コンピュータのRGB端子と接続します。
- **[InputA]端子** ㊦『セットアップガイド』
ビデオ機器のコンポーネントビデオ (YCbCr ㊦やYPbPr ㊦) 端子やRGB端子と接続します。
- **[D4]端子** ㊦『セットアップガイド』
ビデオ機器のコンポーネントビデオ (YCbCrやYPbPr) 端子やD端子と接続します。
- **[Control(RS-232C)]端子** ㊦ p.23
「Cinema Color Editor」使用時にRS-232Cケーブルでコンピュータと接続します。
- **[USB]端子** ㊦ p.23
「Cinema Color Editor」使用時にUSBケーブルでコンピュータと接続します。
- **リモコン受光部** ㊦『セットアップガイド』
リモコン信号を受信します。
- **[Trigger out]端子** ㊦ p.19
本機の電源が入っている間、この端子から信号 (DC12V) が出力されます。本機の電源を切ったり、異常状態になると端子からの出力が0Vになり、本機の電源のオン/オフの状態を外部機器に伝えます。
- **盗難防止用ロック** ㊦ (㊦) ㊦ p.46
- **[Video]端子** ㊦『セットアップガイド』
ビデオ機器の一般的な映像端子と接続します。
- **[電源]端子** ㊦『セットアップガイド』
電源ケーブルを接続します。

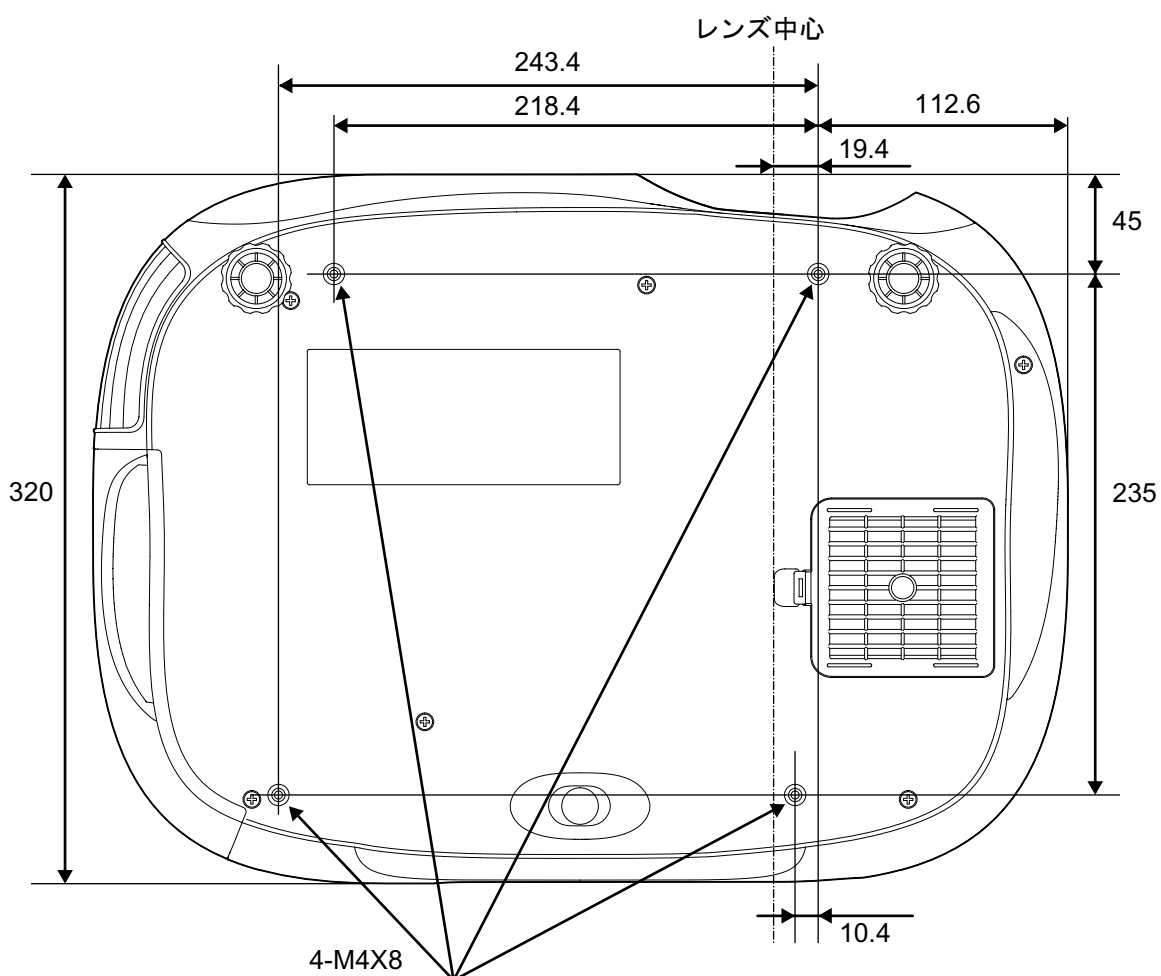
底面

- 
- **エアフィルタ (吸気口)** ㊦ p.34,36
吸気時に本機内部にホコリやゴミが入るのを防ぎます。定期的に掃除してください。
 - **天吊固定部 (4箇所)** ㊦ p.39
天井から吊り下げて使うとき、オプションの天吊金具を取り付けます。

外形寸法図

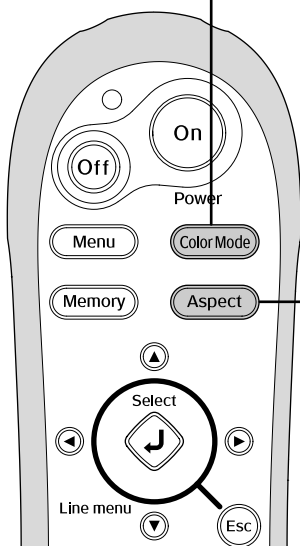


※1 レンズ中心から天吊固定部までの寸法
(レンズシフト量: 上方向最大8.7 mm、下方向最大4.3 mm)
※2 レンズ中心から本体中心までの寸法
(レンズシフト量: 左右方向最大7.7 mm)



單位:mm

画質の調整をしよう



映り具合を選ぶ(カラーモード)

※アドバンスのメモリーを呼び出しているときは、カラーモードセレクトメニューは起動できません。

【カラーモード】
ダイナミック
◆リビング
ナチュラル
シアター
sRGB

初期設定：リビング

ワイド画面で映像を投写する(アスペクト)

【アスペクト】
◆オート
ノーマル
スクイーズ
ズーム
スルー
スクイーズスルー

初期設定

[Video]、[S-Video]、[D4]端子からの信号を投写しているとき：オート

[InputA]、[InputB]端子からの信号を投写しているとき：ノーマル

オート で投写すると

[Video]、[S-Video]、[D4]端子からの信号を投写すると、次のように信号に応じて最適なアスペクトに切り替わります。

- 4:3の入力信号 → ノーマル
- スクイーズ記録された入力信号 → スクイーズ
- レターボックスの入力信号 → ズーム

※接続機器がEIAJ規格に対応していないときはノーマルになります。

セレクトメニューの操作

【カラーモード】
ダイナミック
◆リビング
ナチュラル
シアター
sRGB

リモコンの▲▼か、操作パネルの◀▶を押して項目を選択します。

Select Select
SelectかEnterを押して決定します。

※Escを押すと、セレクトメニューを終了します。



ポイント

営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、ホテルや店内外などでアスペクト機能を利用して映像を圧縮・引き伸ばし・分割を行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

Color Mode を押し、使用シーンに応じてセレクトメニューで5種類のカラーモードから選択します。環境設定メニューで設定することもできます。

ダイナミック : 明るい部屋で使用するのに適しています。

リビング : カーテンを閉めた部屋で使用するのに適しています。

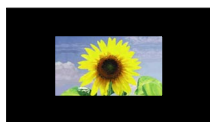
ナチュラル : 暗い部屋で使用するのに適しています。色調整は、このモードから行うことをお奨めします。

シアター : 暗い部屋で使用するのに適しています。

sRGB : 接続している機器に**sRGB**モードがある場合、本機と接続機器の両方とも**sRGB**に設定して使用します。(コンピュータの映像を観るときに最適)

「ナチュラル」「シアター」「sRGB」を選択すると、自動的にエプソンシネマフィルタが装着され、映像全体がしまり、人物の肌の色もより自然な色合いになります。また、「リビング」選択時は、白黒伸張機能が働き、白側・黒側の階調が上がり、メリハリのある映像になります。

Aspect を押し、セレクトメニューからアスペクトモードを選択します。

入力信号	●通常のテレビ放送の映像 ●スタンダードサイズ(4:3)の映像 ●コンピュータ映像	ビデオカメラ・DVDソフトなどのスクイーズ記録された映像	DVDなどのレターボックスの映像	入力信号の解像度が1280×720以下の映像	
				スタンダードサイズ(4:3)の映像	スクイーズ記録された映像
推奨アスペクトモード	ノーマル	スクイーズ	ズーム	スルー	スクイーズスルー
結果	 左右に黒い帯が表示されます。	 入力信号をパネル解像度の幅に合わせて映像を投写します。	 入力信号をパネル解像度の高さに合わせて映像を投写します。	 映像を入力信号の解像度のまま投写します。	 映像を16:9に再現し、入力信号の解像度のまま投写します。
備考	HDTV[™]の映像を投写した場合は、16:9の映像になります。 	4:3の映像を投写した場合は、横長の映像になります。 	●4:3の映像を投写した場合は、上下がカットされます。 ●字幕付きの映像の字幕が切れるときは、環境設定メニューの「ズーム字幕調整」で調整できます。 🔍 p. 18	●パネル解像度に合わせて圧縮・拡大していないため、よりクリアな映像になります。 ●映像をスクリーンいっぱいに投写するには、ズーム調整や、本機の設置位置をスクリーンから離して調整します。 ●HDTVの映像をスルーで投写した場合は、横長の映像になります。 	

こだわりの色調整をしよう

本機は、「カラーモード」を選択して、投写する映像に応じた最適な色設定にすることができます。

さらに、ご自分のお好みに合わせて絵作りをしたい場合は、「映像」メニュー→「カラー調整」の「色温度▶」、「肌の色調整」、「RGB」を調整してください。

調整値は「メモリー:スタンダード」に登録して、いつでも呼び出して映像に反映させることができます。🔍 p.12

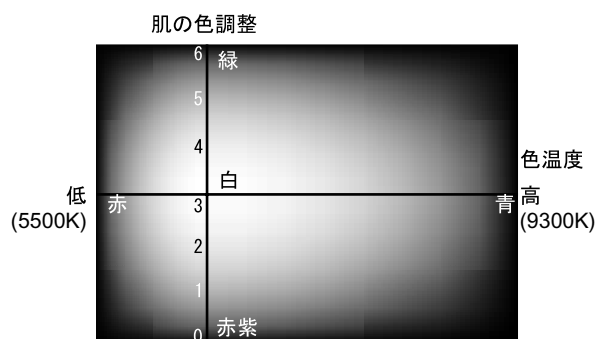
同梱の「Cinema Color Editor」を使用すると、コンピュータからマウス操作で簡単に上記の調整を行えます。さらに、色相や彩度の繊細な色調整ができます。調整値はメモリー登録できるほか、コンピュータにファイル保存できます。友人と交換して、それぞれの絵作りを見せ合うこともできます。🔍 p.22

🔍、または ^{Select} を押すとラインメニューが表示されます。



色温度 / 肌の色調整

色温度調整



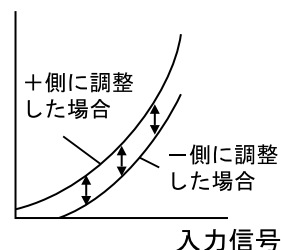
[Menu] を押し、「映像」→「カラー調整」→「RGB」を選択します。



RGBの調整

● オフセット調整

明るさ



暗い部分をよりハッキリ見たい場合は、+側に設定します。一側に設定するほど、映像全体にメリハリがつきますが、暗い部分のコントラストは落ちます。



●色温度

映像全体の色合いを調整します。

「高」を選択すると、青みがかった映像になり、「低」を選択すると赤みを帯びた映像になります。テレビ録画された映像は「高」、映画などの映像は「低」にするなど、ご覧になる映像に応じて「高」(9300K)・「中」(6500K)・「低」(5500K)の3段階から選択します。

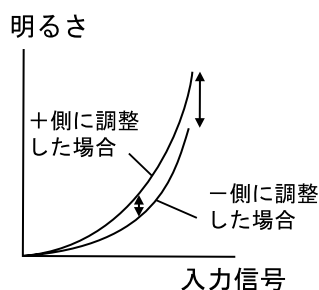
●肌の色調整

人物の肌の色をお好みの色に調整します。

「カラーモード」の設定によって自動的に装着されるエプソンシネマフィルタで、肌の色は自然な色合いになります。より、お好みの肌の色にする場合に、この「肌の色調整」で調整します。＋側に設定すると緑がかった色になり、－側に設定すると赤紫がかった色になります。

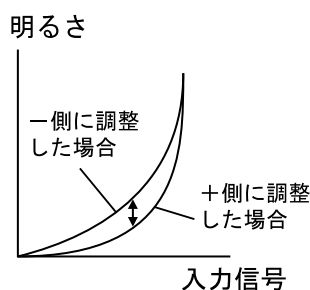
映像の明度を、R(赤)、G(緑)、B(青)についてそれぞれ、暗い部分(オフセット)、明るい部分(ゲイン)、中間部分(ガンマ)を調整します。細かい調整が可能なのでより奥行きのある映像になります。

●ゲイン調整



明るい部分をよりハッキリ見たい場合は、－側に設定します。＋側に設定するほど、より白に近づき明るく感じますが、コントラストは落ちます。

●ガンマ調整

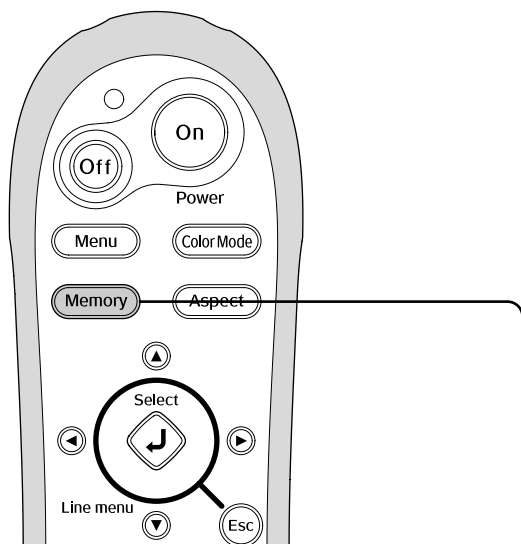


－側に設定すると、なめらかな映像になります。＋側に設定するとメリハリのある映像になります。

登録した画質で映像を見よう(メモリー機能)

環境設定メニューの「画質調整」や「カラー調整」などで投写映像を調整したあとで、その調整値を登録することができます。

登録した調整値を簡単に呼び出すことができるので、いつでも容易にお好みの画質で映像を楽しめます。



セレクトメニューの操作



リモコンの か、操作パネルの を押して項目を選択します。
 か を押して決定します。

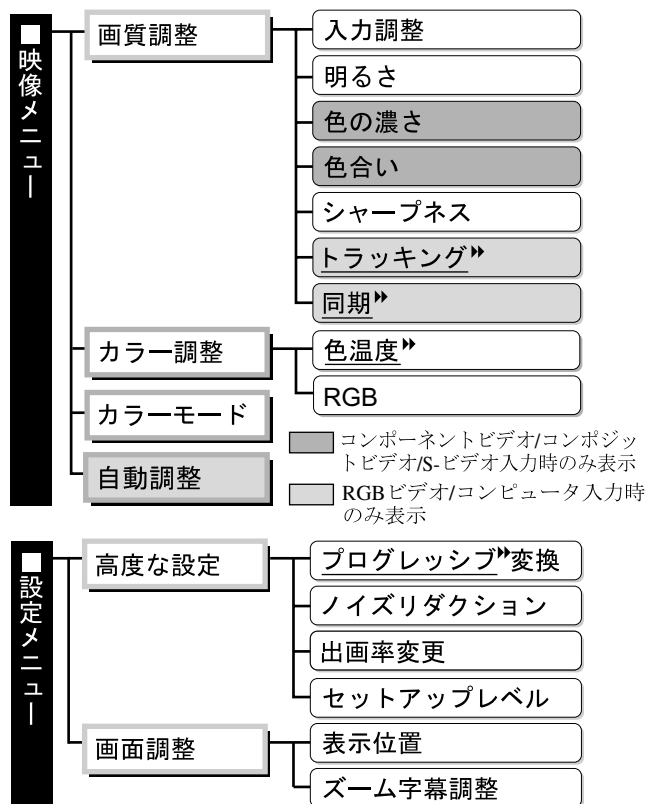
※ を押すと、セレクトメニューを終了します。

次の階層に進む場合は続けて選択してください。

画質の登録(メモリー登録)

メモリーに登録できる設定

- 環境設定メニュー p.14



- アスペクトの設定 p.8

登録した画質の呼び出し(メモリー呼び出し)



左記の環境設定メニューの各項目で調整した結果と、アスペクトの設定を登録できます。
登録は環境設定メニューの「映像」→「メモリー:スタンダード」で行います。

 **ポイント** コンピュータからCinema Color Editorを使って簡単にメモリーを登録/呼び出すこともできます。メモリーには「スタンダード」、「アドバンス」の2種類があり、それぞれ6個まで登録できます。
Cinema Color Editorで色相や彩度を調整した場合は、「メモリー:アドバンス」に登録します。
 p. 26

ここでは「メモリー:スタンダード」で登録する方法を説明します。

- 1 登録したい状態に各設定を調整しておきます。
- 2 環境設定メニューの「映像」→「メモリー:スタンダード」を選択し、を押します。
- 3 Memory1~6から登録するメモリー名を選択し、を押します。
メモリー名の左にある○の色で次のように登録の状態を表しています。
○ (緑色):登録済み ○ (灰色):未登録 ○ (オレンジ色):選択中
登録済みのメモリーを選択し を押すと、前の調整値が消えて現在の調整値が登録されます。
登録したメモリーをすべて消去する場合は、環境設定メニューの「初期化」→「メモリー初期化」で行います。  p. 20

を押し、セレクトメニューから目的のメモリー名を選択します。「メモリー:スタンダード」、「メモリー:アドバンス」の両方を登録している場合は、「メモリー:スタンダード」と「メモリー:アドバンス」を選択するメニューが表示されます。呼び出したい調整値が登録されているメモリー種別を選びます。

-  **ポイント**
- メモリーを呼び出した結果は、本機の電源をオフにしても保持されます。次回電源を入れたときには同じメモリーの調整値で映像を投写します。
 - 16:9の映像や、入力映像の解像度によって、呼び出したメモリーのアスペクトが投写映像に反映されない場合があります。
 - 「メモリー:アドバンス」で登録したメモリーを呼び出した場合は、呼び出す前の状態に戻すことができます。状態に戻すには、セレクトメニューで「ラストメモリー」を選択します。

環境設定メニューの機能

環境設定メニューでは、画面、画質、入力信号などの調整や設定を行うことができます。
環境設定メニューには、次の2種類があります。

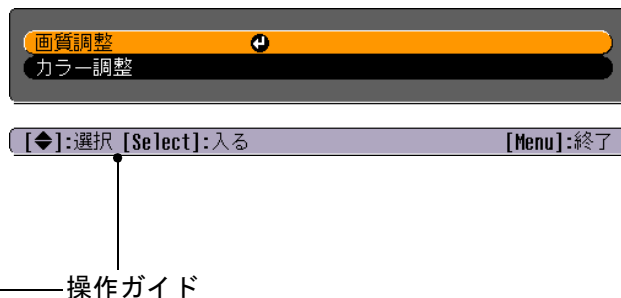
●フルメニュー

環境設定メニューの全項目を確認しながら設定できます。



●ラインメニュー

環境設定メニューの「映像」メニュー内の「画質調整」と「カラー調整」を調整できます。調整した結果が投写映像にどのように反映されるかを確認しながら調整するときに適しています。



操作方法の詳細は「環境設定メニューの操作」(p.21)をご覧ください。



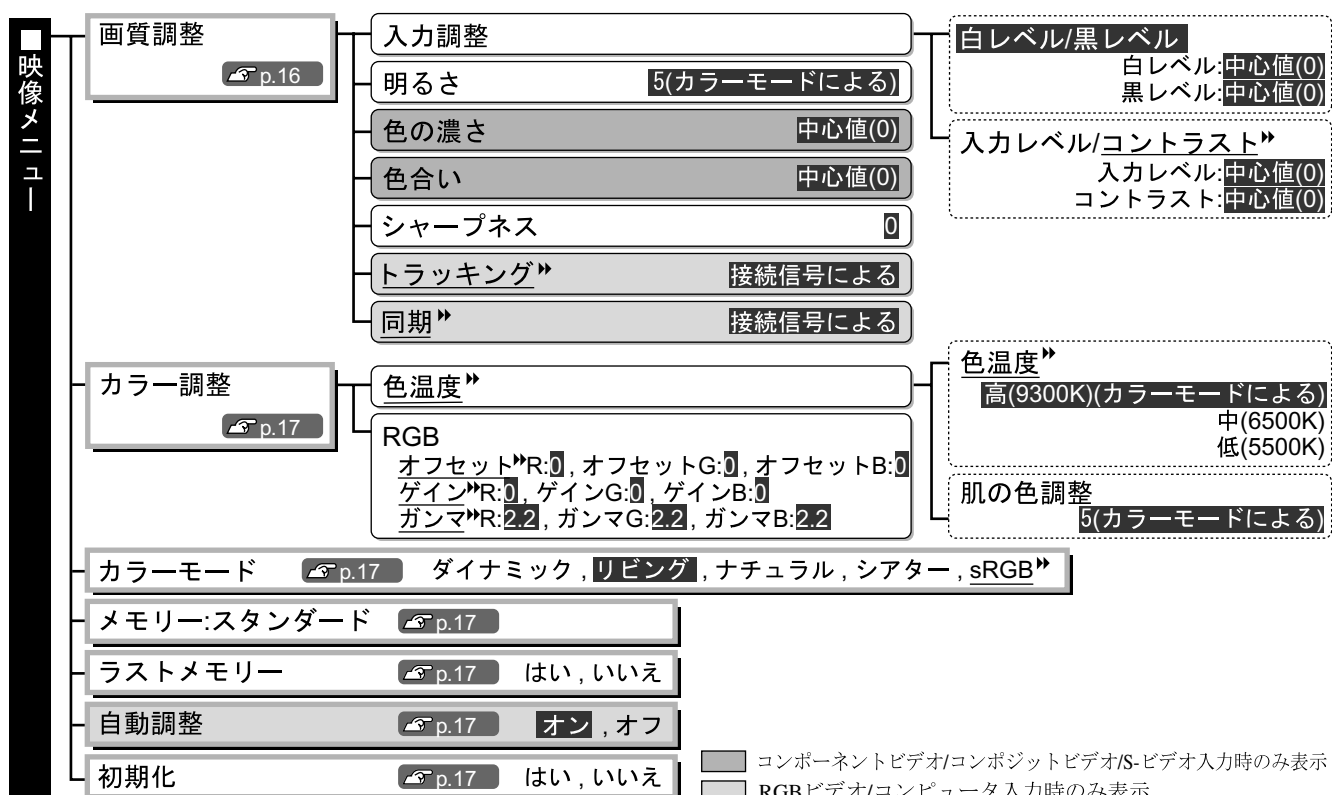
環境設定メニューは、操作ガイドの表示 / 非表示、カラーパターン、表示位置を変更できます。

ポイント 「設定」→「オンスクリーン表示設定」→「メニュー表示位置」、「操作ガイド」、「メニューカラー」

環境設定メニュー一覧

映像信号が何も入力されていないときは、「映像」メニューでは「画質調整」→「明るさ」以外は調整できません。「映像」メニュー、「情報」メニューは投写している映像信号によって表示される項目が異なります。アドバンスのメモリーを呼び出しているときは、設定できない項目が生じます。

■ は初期設定値



■ は初期設定値

■ 設定メニュー	高度な設定 p.17	プログレッシブ [™] 変換	オン, オフ	
		ノイズリダクション	オフ, NR1, NR2	コンボジットビデオとS-ビデオ信号入力時のみ設定可能
		出画率変更	ビデオ映像入力時→通常, 拡大 コンピュータ映像入力時→通常, 縮小	
		セットアップレベル	0%, 7.5%	コンポーネントビデオ信号入力時、コンボジットビデオとS-ビデオのNTSC信号入力時のみ設定可能
	画面調整 p.18	表示位置		縦サイズ 0
		ズーム字幕調整		表示位置 中心値(0)
		台形補正	中心値(0)	
		設置モード	フロント, フロント・天吊り リア, リア・天吊り	
	動作設定 p.19	スリープモード	オフ, 5分, 10分, 30分	電動フォーカスロック オン, オフ
		通信ポート	RS-232C, USB	電動ズームロック オン, オフ
		トリガーアウト	オン, オフ	チャイルドロック オン, オフ
		ロック設定		キーロック オン, オフ
		液晶パネル調整		
	オンスクリーン表示設定 p.19	メニュー表示位置	左上, 中央上, 右上, 左中央, 中央右, 中央, 左下, 中央下, 右下	
		操作ガイド	オン, オフ	
		メニューカラー	カラー1, カラー2, カラー3	
		メッセージ表示	オン, オフ	
		背景色	黒, 青, ロゴ	
		スタートアップスクリーン	オン, オフ	
	入力信号選択 p.20	ビデオ信号方式	オート, NTSC [™] , NTSC4.43, PAL [™] , M-PAL, N-PAL, PAL60, SECAM [™]	
		InputA	YCbCr [™] , YPbPr [™] , RGB-Video	
		D4	YCbCr [™] , YPbPr [™]	
	言語 p.20	言語	日本語, English, Français, Deutsch, Italiano, Español, Portuguesa, 中文, 한국어	
	初期化 p.20	初期化	はい, いいえ	

■ 情報メニュー	ランプ点灯時間	●ランプ交換時期になると、文字が赤色で表示されます。 ●0～10時間までは0Hとして表示されます。10時間以上は1時間単位で表示します。
	映像ソース	
	入力信号	
	入力解像度	
	ビデオ信号方式	
	リフレッシュレート [™]	
	同期 [™] 情報	

情報メニューでは本機の状態表示のみを行います。

■ 初期化メニュー	ランプ点灯時間初期化 p.20	はい, いいえ
	メモリー初期化 p.20	はい, いいえ
	全初期化 p.20	はい, いいえ

■ コンボジットビデオ/S-ビデオ入力時のみ表示
■ コンポーネントビデオ/RGBビデオ/コンピュータ入力時のみ表示
■ RGBビデオ/コンピュータ入力時のみ表示

映像メニュー

 コンポーネントビデオ/コンポジットビデオ/S-ビデオ入力時のみ表示
 RGBビデオ/コンピュータ入力時のみ表示

画質調整

初期設定値

入力調整 ※1

接続機器の出力レベルが弱く映像が暗く感じる場合に調整します。両方を組み合わせて設定することはできません。いずれかを選んでお使いください。

白レベル/黒レベル

- **白レベル/黒レベル**: 映像の暗い部分、明るい部分を調整します。

白レベル: 黒レベルを変えずに、白側の明度を調整します。

－側に設定すると明るい部分がはっきり見えるようになります。

白レベル: 中心値(0)

黒レベル: 白レベルを変えずに、黒側の明度を調整します。

＋側に設定すると暗い部分がはっきり見えるようになります。

黒レベル: 中心値(0)

- **入力レベル/コントラスト**▶: 映像全体の明度を調整します。

入力レベル: 映像全体の明度を調整します。

＋側に設定すると映像全体が明るい感じになります。

入力レベル:
中心値(0)
コントラスト:
中心値(0)

コントラスト: 映像の明暗の差を調整します。

コントラストを上げるとメリハリのある映像になります。

明るさ ※2

映像の明るさを調整することができます。

暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎる時は調整値を低くします。

設定値を0以下にすると、消費電力を最大約25%削減できます。

5
(カラーモードによる)

色の濃さ ※1

映像の色の濃さを調整します。

中心値(0)

色合い ※1

(コンポジットビデオ▶、S-ビデオ▶はNTSC▶系の信号入力時のみ調整可能)
映像の色合いを調整します。

中心値(0)

シャープネス ※1

映像のシャープ感を調整します。

0

トラッキング▶ ※1

映像に縦の縞模様が出るときに調整します。

接続信号による

同期▶ ※1

映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。

- ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト、シャープネス、台形補正の調整で発生することもあります。

- トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。

接続信号による

※1 映像ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。

※2 映像ソースとカラーモードの設定ごとに設定値が保存されます。

 RGBビデオ/コンピュータ入力時のみ表示
カラー調整

初期設定値

カラーモードをsRGBに設定している場合は、「カラー調整」は選択できません。

色温度※2

- 映像全体の色合いを調整する場合に、3種類から選択します。🔗 p.10
- 肌の色調整：肌の色をお好みの色に調整します。🔗 p.10

高 (9300K)
(カラーモードによる)5
(カラーモードによる)**RGB**※1

明るい部分、暗い部分、中間部分それぞれの、映像の明度を調整します。🔗 p.10

 オフセット▶R/G/B:0
 ゲイン▶R/G/B:0
 ガンマ▶R/G/B:2.2
カラーモード※1

初期設定値

投写する映像に合わせて、色調整を5種類から選択します。🔗 p.8

リビング

メモリー：スタンダード

現在の環境設定メニューの設定値とアスペクトの設定を登録できます。🔗 p.12

ラストメモリー※1

「メモリー:アドバンス」を呼び出して調整した映像を、呼び出す前の状態に戻します。
戻す場合は、「はい」を選択します。

自動調整※1

初期設定値

入力信号が切り替わったときに、映像を自動で最適な状態に調整する自動調整のオン/オフを設定します。

オン

初期化

「映像」メニューのうち、「メモリー:スタンダード」で登録したメモリー以外のすべての調整値を初期値に戻します。「メモリー:スタンダード」は「メモリー初期化」で初期化します。🔗 p.20

設定メニュー**高度な設定**

初期設定値

プログレッシブ変換※1

(コンポーネントビデオ▶は525i、625i信号入力時のみ設定可能)

- オフ: IP変換を各フィールドの画面内で行います。動きの大きい映像をお楽しみいただくときに適しています。
- オン: インターレース▶(i)信号をプログレッシブ(p)に変換します。静止画に適しています。

オフ

ノイズリダクション※1

(コンポジットビデオ、S-ビデオ信号入力時のみ設定可能)

映像のざらつきを抑え、画質をソフトにします。DVDなど映像ソースにノイズが少ない場合は、「オフ」に設定することをお勧めします。

オフ

※1 映像ソースや信号の種類ごとに設定値が保存されます。

※2 映像ソースとカラーモードの設定ごとに設定値が保存されます。

出画率変更 ※1

出画率(投写する映像の範囲)を変更できます。

- **コンポーネントビデオ** ▶、**RGBビデオ**、**コンポジットビデオ** ▶、**S-ビデオ** ▶ 入力時
通常(92%表示) : 入力信号の通常の範囲を投写します。テレビ映像などは92%で表示されます。

拡大 : コンポーネントビデオ、RGBビデオは100%で表示されます。
コンポジットビデオ、S-ビデオは95%で表示されます。
通常では見ることのできない、映像の上下左右を入れて投写します。映像信号によっては上下左右にノイズが入る場合があります。

通常

- **コンピュータ入力時**

通常(100%表示) : 入力信号の全ての範囲を投写します。
縮小(95%表示) : 映像の周りを切って投写します。映像の上下にノイズが入る場合に選択します。

通常

セットアップレベル ※1

(コンポーネントビデオ信号入力時、コンポジットビデオとS-ビデオのNTSC▶信号入力時のみ設定可能)
アメリカ向けや韓国向けの製品など黒のレベル(セットアップレベル)が違う機器を使用する際に変更します。接続する機器の仕様を確認してから設定してください。

0%

画面調整

初期設定値

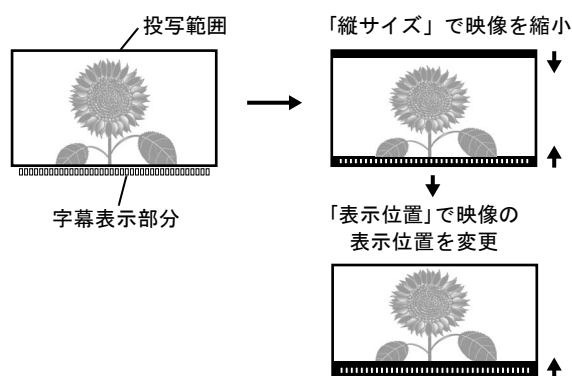
表示位置 ※1

映像の表示位置を ⬆ ⬇ ⬇ ⬆ を押して移動します。

ズーム字幕調整 ※1

アスペクト▶を「ズーム」に設定し字幕つき映像を投写している場合に、以下の設定を行って字幕を表示します。縦サイズと表示位置は組み合わせて設定できます。

- **縦サイズ:**
映像の縦サイズを縮小し、字幕を表示します。



0

- **表示位置:**
映像全体を上に移動し字幕を表示します。

中心値(0)

台形補正

台形にゆがんだ映像を補正します。本体操作パネルからも同じ補正ができます。📖『セットアップガイド』

中心値(0)

設置モード

本機の設置状態に応じて設定します。

- フロント: スクリーン正面から投写する場合に選択します。
- フロント・天吊り: 天吊りでスクリーン正面から投写する場合に選択します。
- リア: リアスクリーンへ裏側から投写する場合に選択します。
- リア・天吊り: 天吊りでリアスクリーンへ裏側から投写する場合に選択します。

フロント

動作設定

初期設定値

スリープモード

本機は、信号が入力されていない状態が設定した時間続くと、自動的に電源をオフにして、スタンバイ状態になります。スリープモードが働くまでの時間を4種類から選択します。「オフ」にした場合はスリープモードは働きません。スタンバイ状態になっているときは、を押すと投写を再開します。

30分

通信ポート

Cinema Color Editorを使ってコンピュータから画質を調整する場合に接続するポートを選択します。設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウン▶が終了した以降、設定が有効になります。

USB

トリガーアウト

本機の電源オン/オフの状態や異常状態になったことを外部機器に伝えるトリガーアウト機能のオン/オフを設定します。
設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した以降、設定が有効になります。

オフ

ロック設定

次の各ロック機能についてオン/オフを設定できます。ロック機能オン時に、ボタン操作を行うと画面上にが表示されます。

- **電動フォーカスロック**: オンにするとフォーカス調整ができなくなります。
- **電動ズームロック**: オンにするとズーム調整ができなくなります。
- **チャイルドロック**: お子様が、誤って電源を入れてレンズをのぞかないように、操作パネルのでの電源オンをロックします。
ロック時は、を約3秒間押し続けると電源が入ります。で電源を切ったり、リモコンでの操作は通常どおり行えます。
設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウンが終了した以降、設定が有効になります。
- **キーロック**: オンにすると本体操作パネルのボタン操作が無効になります。
(「オン」に設定すると「チャイルドロック」は設定できなくなります。)
設定を変更した場合は、環境設定メニューの表示を終了した以降、設定が有効になります。

オフ

オフ

オフ

オフ

液晶パネル調整

本機をお使いいただいていると、投写映像全体に縦線が表示されることがあります。この縦線が気になる場合に調整します。🔧 p.38

オンスクリーン表示設定

初期設定値

メニュー表示位置

環境設定メニューが表示される位置をを押して指定します。

中央

操作ガイド

環境設定メニューの操作ガイドを表示する(オン)/しない(オフ)を設定します。

オン

メニューカラー

フルメニューのトップメニューと操作ガイドの色合いを選択します。

- カラー1 : 青色
- カラー2 : 緑色
- カラー3 : 赤色

カラー1

メッセージ表示

次のメッセージ表示をする(オン)/しない(オフ)を設定します。

- 映像信号やカラーモード、アスペクト[▶]、メモリー呼び出し時の項目名表示
- 映像信号が入力されていないときや未対応信号の場合、内部温度上昇時

オン

背景色

ブランク状態時と、スタートアップスクリーン(投写開始時に投写される映像)の状態を選択します。

黒

スタートアップスクリーン

スタートアップスクリーン(投写開始時に投写される映像)を表示する(オン)/しない(オフ)を設定します。設定を変更した場合は、電源を切ってクールダウン[▶]が終了した以降、設定が有効になります。

オン

入力信号選択

初期設定値

ビデオ信号方式

[Video]端子、または[S-Video]端子に接続しているビデオ機器に応じて信号方式を設定します。「オート」にすると、自動的にビデオ信号を設定します。「オート」にしている映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きる場合は、適切な信号を選択してください。

オート

InputA

[InputA]端子に接続しているビデオ機器の出力信号に応じて選択します。

YCbCr[▶]

D4

[D4]端子に接続しているビデオ機器の出力信号に合わせて「YCbCr」、または「YPbPr[▶]」を選択します。

YCbCr

言語

初期設定値

メッセージやメニューに表示する言語を設定します。

日本語

初期化

「設定」メニューのうち、「液晶パネル調整」、「入力信号選択」、「言語」以外のすべて調整値を初期値に戻します。

初期化メニュー

ランプ点灯時間初期化

ランプ点灯時間の初期化を行います。実行すると、ランプ点灯時間の累積が初期設定値にクリアされます。

メモリー初期化

「メモリー:スタンダード」、「メモリー:アドバンス」に登録している内容をすべて初期化(消去)します。「メモリー:アドバンス」への登録は「Cinema Color Editor」から行います。

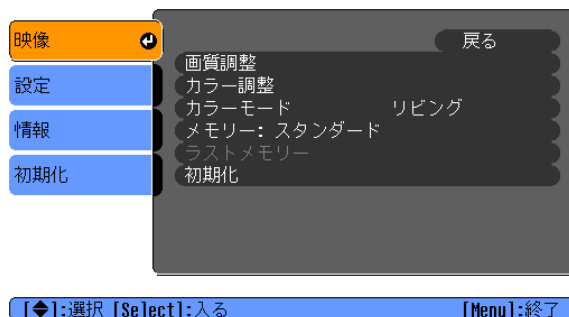
全初期化

環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。「メモリー:スタンダード」、「メモリー:アドバンス」、「液晶パネル調整」、「入力信号選択」、「ランプ点灯時間」、「言語」は初期値に戻りません。

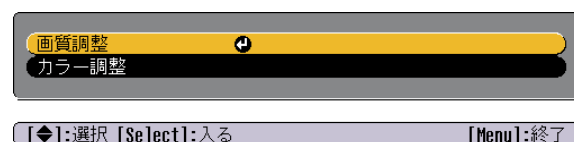
環境設定メニューの操作

1 メニューの呼び出し

フルメニュー: **Menu** を押します。



ラインメニュー: **Line menu** または、**Line menu** を押します。



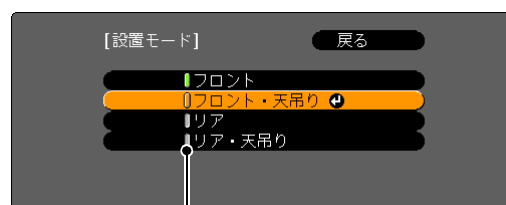
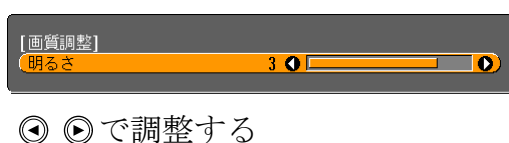
アドバンスのメモリーを呼び出している場合は、ラインメニューは起動できません。

2 項目選択

Up **Down** で項目を選び **Select** を押します。

3 設定の変更

例:)



● (緑): 現在の設定値
● (オレンジ): 現在選択中の項目

Up **Down** で項目を選び **Select** を押す

Up が表示されている項目で **Select** を押すと、その項目の選択画面に移行します。
一階層戻るときは、**Esc** を押すか、「戻る」を選び **Select** を押します。

4 設定の終了

Menu を押します。

Cinema Color Editor のインストール

他のアプリケーションを起動している場合は終了してからインストールしてください。
Macintosh をお使いの方で旧バージョンの Cinema Color Editor をインストールしている場合は、新バージョンをインストールする前に旧バージョンをアンインストールしてください。☞ p.23

1 同梱の『Cinema Color Editor』CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

Windows: 自動でインストーラが起動します。

Macintosh: 「EPSON」ウィンドウで、お使いのOSに応じて「Installer for Mac OS Classic」アイコン、または「Installer for Mac OS X」アイコンをクリックします。

ウイルスチェックプログラムに関する画面が表示されるので、内容を確認して[続ける]をクリックします。

ソフトウェア確認画面が表示されます。

● Windows



インストールするソフトウェアの選択
表示される言語の変更
インストーラの終了
インストールの実行

● Macintosh



インストールするソフトウェアの選択
表示される言語の変更
インストーラの終了
インストールの実行



ポイント

Windows をお使いの場合

- USBケーブルでコンピュータと接続する場合は、USBドライバ(EPSON Projector USB-Virtual COM Driver)を必ずインストールしてください。
- セットアッププログラムが起動しない場合は、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]で[ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスを開き、[CD-ROMのドライブ名:¥Epssetup.exe]を指定して[OK]ボタンをクリックしてください。

2 設定内容を確認して[インストール]ボタンをクリックします。

インストールが始まります。以降は、画面の指示に従って進めてください。

3 [終了]ボタンをクリックするとインストールが終了します。

Macintoshをお使いの場合は、再起動をうながすメッセージが表示されることがあります。メッセージに従い再起動を行ってください。

Cinema Color Editor のアンインストール

Cinema Color Editorが不要となった場合は、次の手順でアンインストールを行います。

● Windows

[マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]でCinema Color Editorを選択して[追加と削除](Windows XP の場合は[変更と削除])をクリックします。

● Macintosh

インストーラを起動します。
下の画面が表示されるまで画面の指示に従って進めてください。



1 アンインストールを選択します。

2 [アンインストール]をクリックします。

コンピュータと接続する

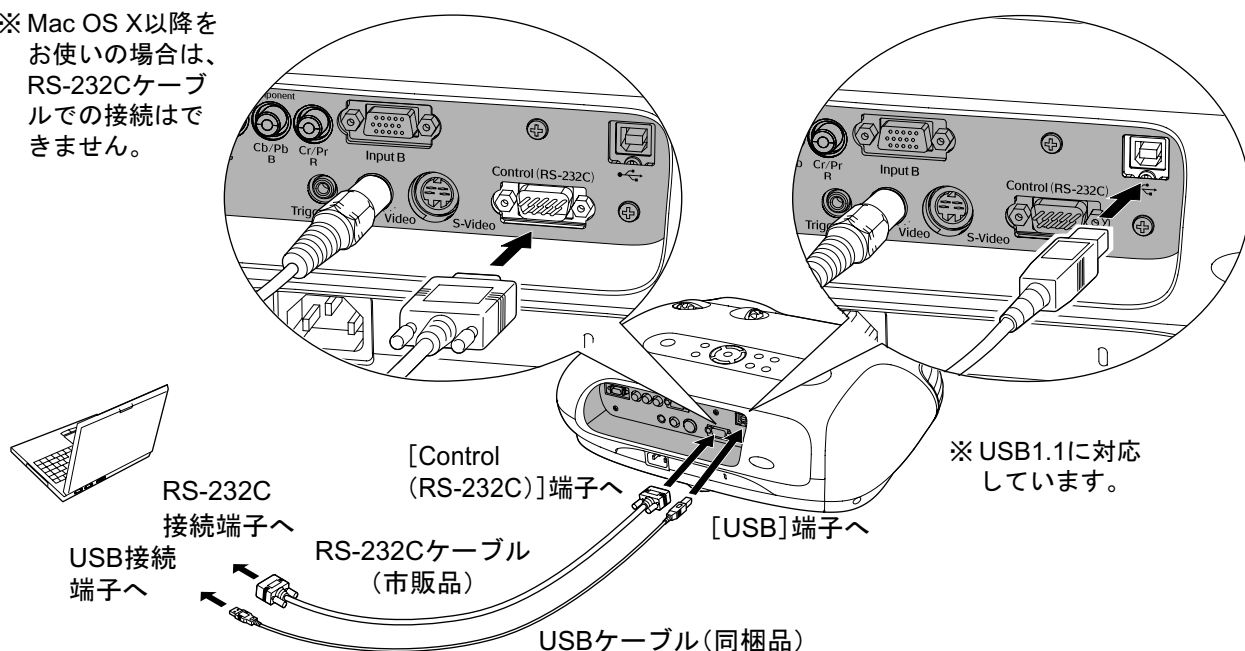
USBケーブルで接続する場合は、事前にCinema Color Editorのインストールを済ませておいてください。

RS-232Cケーブルで接続する場合は、クロスケーブルをお使いください。

RS-232Cケーブルで接続する場合

USBケーブルで接続する場合

※ Mac OS X以降をお使いの場合は、RS-232Cケーブルでの接続はできません。



ポイント

- コンピュータと本機をUSBケーブルで接続したとき、コンピュータに「新しいハードウェアの追加ウィザード画面」や「USB装置に必要なドライバが見つかりません」といったダイアログが表示された場合は、ウィザード画面やダイアログをキャンセルしてください。USBケーブルを抜いてからCinema Color Editorをインストールし、その後接続を行ってください。
- 接続に合わせて、環境設定メニューの「設定」→「動作設定」→「通信ポート」で使用するポートを選択します。 初期設定: USB p.19

Cinema Color Editor の使い方

ここではWindowsの画面を例に説明しています。Macintoshでも同様に操作します。

クリックして
リモコン画面へ

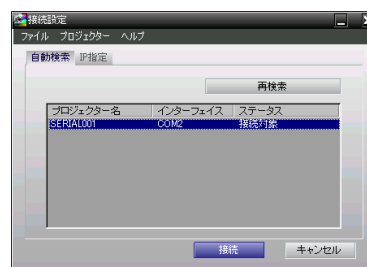
クリックして
画質調整画面へ



注意

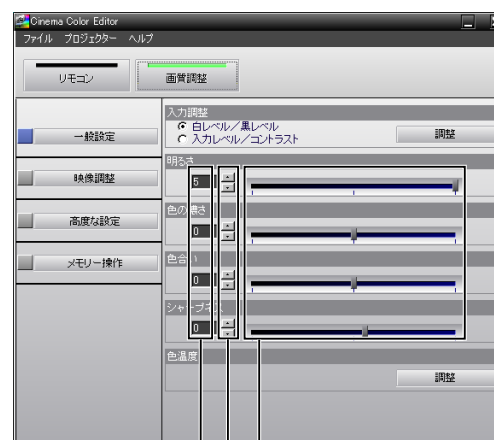
Cinema Color Editorを使用中は、プロジェクターのリモコンや操作パネルでプロジェクターの操作を行わないでください。万一、リモコンや操作パネルからプロジェクターを操作したために不具合が生じた場合は、Cinema Color Editorの「プロジェクター」メニューから「最新の状態に更新」を行います。

Cinema Color Editorを起動する



コンピュータでらくらく操作

画質調整画面



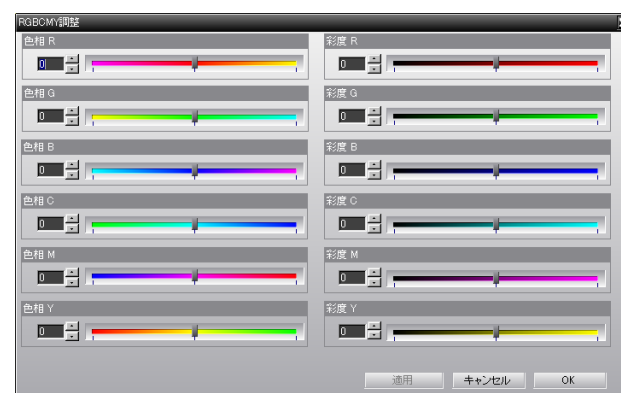
- ゲージボタンを左右にドラックして調整※
- クリックして数値を増減
- 数字を入力しコンピュータの[Enter] ([Return]) キーを押す

※ゲージ調整後マウスボタンを離すと調整結果が映像に反映されます。



順番にクリックすると、「RGBCMY調整」画面が表示されます。

色相・彩度の調整



調整後、[適用]をクリックすると、調整結果が映像に反映されます。

[OK]をクリックすると、調整画面を終了します。

調整したいプロジェクターの電源がオンになっていることを確認してから、Cinema Color Editorを起動します。

Windowsをお使いの場合：[スタート]→[プログラム]→[EPSON Projector]→[Cinema Color Editor]の順に選択します。

Macintoshをお使いの場合：Dock内のFinderをクリックし[Macintosh HD]→[アプリケーション (Applications)]をクリックし、[CCEditor(V*.*)]→[Cinema Color Editor]の順にダブルクリックします。

()内はClassic OSの場合

オープニング画面が終了すると、左の接続画面が表示されます。
接続しているプロジェクターが表示されます。調整などを行うプロジェクターを選び、[接続]をクリックします。

プロジェクターの画質調整や、リモコン操作がマウスで簡単に行えます。

設定できる項目

画面左のボタンをクリックし、以下の調整が行えます。環境設定メニューの同名機能と同様に調整ができます。☞ p.14

一般設定

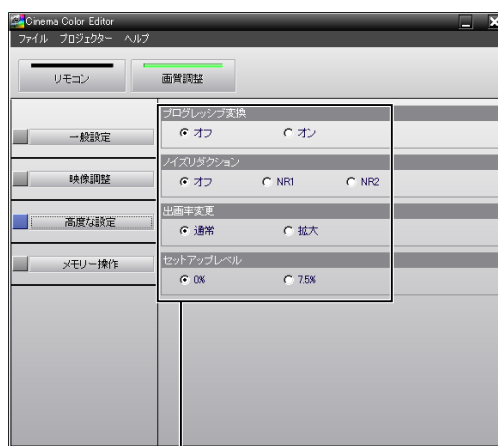
- 白レベル/黒レベル
- 入力レベル/コントラスト
- 色の濃さ ●色合い ●シャープネス
- 色温度 ●トラッキング ●同期

映像調整

- カラーモード ●カラー調整

高度な設定

- プログレッシブ変換 ●ノイズリダクション
- 出画率変更 ●セットアップレベル
- 自動調整



設定する項目をクリックします

リモコン画面



ボタンをクリックしてリモコンと同様の操作ができます
※「ソース切り替え」では映像信号の切り替えはできません

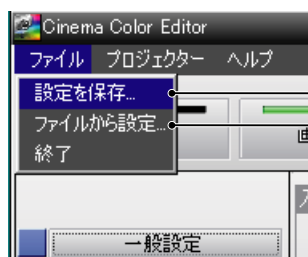
Cinema Color EditorではR(赤)、G(緑)、B(青)、C(シアン)、M(マゼンダ)、Y(イエロー)の各色ごとに色相・彩度の調整が行えるため、よりこだわった色の調整ができます。お気に入りの映画を劇場で見たような色に再現したり、まったく違うお好みの色に調整したりしてお楽しみください。

色相:画面全体の色みを、青系～緑系～赤系へと調整します。
彩度:映像全体の鮮やかさを調整します。

調整値の保存/ファイルから設定

現在投写している映像の調整値をコンピュータにファイル保存できます。ファイル保存した調整値は、呼び出して投写している映像に反映できます。また、ファイルを友人と交換して、同じ調整値で映像を見ることもできます。ファイル保存した調整値をプロジェクターのメモリーに登録して、呼び出して使うこともできます。☞ p.26

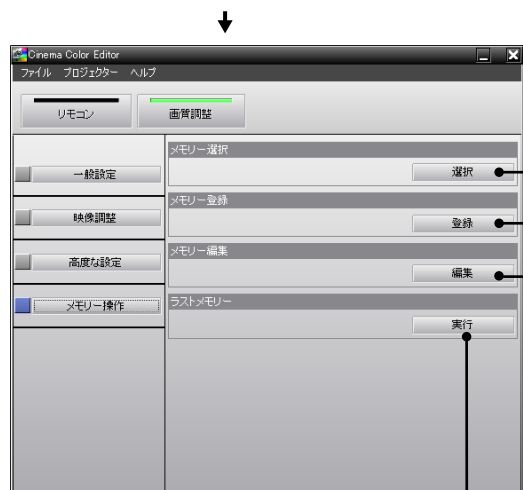
ファイルへの保存、設定は「ファイル」メニューから行います。



現在のプロジェクターの調整値をファイル保存

ファイル保存されている調整値を現在、投写している映像に反映

メモリー操作 をクリック



プロジェクターのラストメモリーと同様の操作が行えます (p. 17)

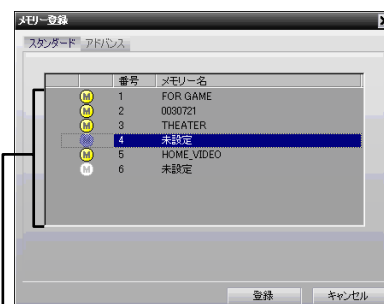


注意

他の製品 (EMP-TW200、EMP-TW500) で登録したメモリーは使用できません。

こだわりの設定をメモリーに登録しよう

調整値をメモリーに登録する



メモリーリスト
プロジェクターのメモリーの状態を示しています。

M (黄色) : 登録済み

M (グレー) : 未登録

メモリーの保存/読み込み/メモリー名の編集



メモリーリスト

「メモリー編集」を実行すると、次の処理が簡単に行えます。

- プロジェクターのメモリーをコンピュータのメモリー情報ファイルとして保存
コンピュータ内のメモリー情報ファイルをプロジェクターのメモリーに登録

これにより、メモリー登録数の制限(スタンダード:6、アドバンス:6)を気にせず好きなだけコンピュータにストックし、必要に応じてプロジェクターのメモリーに登録して使うことができます。

メモリー登録した内容をコンピュータにファイル保存する

- 1 メモリーリストでファイル保存するメモリーを選択します。
- 2 [ファイルへ保存]をクリックします。
- 3 保存する場所を選び、ファイル名を入力して[保存]をクリックします。
すでに同じ名前のファイルが保存されているとメッセージが表示されます。

ファイル保存した調整値をプロジェクターのメモリーに登録する

- 1 メモリーリストで読み込み先のメモリー番号を選択します。
- 2 [ファイル読み込み]をクリックします。
- 3 ファイルを選択する画面で読み込むファイルを選んで[開く]をクリックします。
すでに登録済みのメモリーを選択するとメッセージが表示されます。

「メモリー登録」を実行すると、調整した結果をプロジェクター本体のメモリーに登録できます。「メモリー選択」は、リモコンの **(Memory)** でメモリー呼び出しするのと同じ働きをします。「メモリー選択」を実行すると、プロジェクター本体のメモリーが表示されますので、目的のメモリーを選択します。

登録したメモリーを呼び出す



1 登録するメモリーを選択します。

メモリーには次の2種類があり、それぞれ6つまで登録できます。「カラー調整」の設定により、登録できるメモリーの種別が異なります。

スタンダード

「カラー調整」を「RGB」で調整した場合

アドバンス

「カラー調整」を「RGBCMY」で調整した場合
※調整はCinema Color Editor側から行ってください。

2 メモリーリストで登録するメモリーを選択し、[登録]をクリックします。

1 「スタンダード」「アドバンス」のタブをクリックして、メモリー種別を選びます。

2 メモリーリストで呼び出すメモリーを選択後、[選択]をクリックします。 選択した調整値が映像に反映されます。

●メモリー名の変更

初期設定のMemory1やMemoryAという名前を変更できます。たくさん調整値をストックしても、調整値に応じた名前にすれば迷わず呼び出せます。

●メモリーの初期化

不要になったメモリーをひとつずつ選んで消去できます。

メモリーの名前を変更する

- 1 メモリーリストから名前を変更するメモリーを選択します。
- 2 [メモリー名の変更]をクリックします。
- 3 「メモリー名の変更」画面が表示されるので、メモリー名を半角12文字以内で入力します。入力できる文字はアルファベット、数字、スペースと一部記号です。
例 ! " % & ' () * + , - . など
- 4 名前を入力したら、[OK]をクリックします。

メモリーの初期化

- 1 メモリーリストから初期化するメモリーを選択します。
- 2 [メモリーの初期化]をクリックします。
- 3 確認の画面が表示されるので[OK]をクリックします。

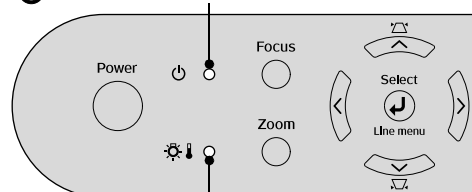
インジケータの見方

本機は、次の2種類のインジケータで本機の状態を知らせています。

下表でインジケータの状態と対処方法を確認してください。

※インジケータがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されていないか、または、電気が供給されていません。

⏻ (オペレーション) インジケータ



⚡ (異常/警告) インジケータ

⚡ (異常 / 警告) インジケータ 点灯・点滅時

異常 / 警告

● : 点灯 ⚡ : 点滅

赤 ⚡ (1秒間隔)	内部異常 / ファン異常 / センサ異常 ⚠ 注意 電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。📖 裏表紙
赤 ⚡ (0.5秒間隔)	ランプ異常 / ランプ点灯失敗 ランプが割れていないか確認します。📖 p.36 ランプが割れていなければ ランプを再セットし、本機の電源を入れます。 ランプを再セットしても直らないときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。📖 裏表紙 ランプが割れているときは お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに、ランプ交換を依頼してください。📖 裏表紙
赤 ⚡ ●	内部高温異常(オーバーヒート) ランプが自動的に消灯し投写できなくなります。約5分間そのままの状態待ちます。
オレンジ ⚡ ●	高速冷却中 このまま投写を続けられますが、さらに高温になると投写を自動的に停止します。 ● 壁際に設置している場合は、壁から20cm以上離してください。 ● エアーフィルタが目詰まりしているときは、掃除をしてください。📖 p.34 電源入れたとき、改善されない場合は、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。📖 裏表紙

⏻ (オペレーション) インジケータ 点灯・点滅時

正常

⚡ (異常 / 警告) インジケータは消灯しています。

● : 点灯 ⚡ : 点滅

オレンジ ⏻ ●	スタンバイ状態 ⏻ を押すと、しばらくして投写を開始します。
緑 ⏻ ⚡	ウォームアップ中 ウォームアップの時間は約45秒です。 ウォームアップ中は電源オフの操作は無効になります。
緑 ⏻ ●	投写中 通常動作中です。
オレンジ ⏻ ⚡	クールダウン中 クールダウンは約30秒で終了します。 クールダウンが終了すると、スタンバイ状態になります。 クールダウン中はリモコン、操作パネルからの操作は無効になります。

インジケータを確認してもわからないとき

まず下記をご覧になり、どのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

映像に関するトラブル

- 映像が表示されない ㊦ 下記参照
投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど...
- 「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される ㊦ p.30
- 「映像信号が入力されていません。」と表示される ㊦ p.30
- ぼやける、ピントが合わない ㊦ p.30
- ノイズが入る、乱れる ㊦ p.31
ノイズが入る・乱れる・市松模様のようにモノクロのチェックになるなど...
- 切れる(大きい)、小さい ㊦ p.31
映像の一部分しか投写されないなど...
- 色合いが違う ㊦ p.32
全体が赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど...
(コンピュータのモニターや液晶画面とは色の再現性が異なるため、本機での投写映像とモニターでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)
- 暗い ㊦ p.32
- 投写映像全体に縦線が表示される ㊦ p.32
- 自動的に投写が消える ㊦ p.32

投写開始時のトラブル

- 電源が入らない ㊦ p.33

リモコンでのトラブル

- リモコンで操作できない ㊦ p.33

映像に関するトラブル

■映像が表示されない

電源を入れましたか？	リモコンの  か、操作パネルの  を押します。
インジケータがすべて消灯していませんか？	本機の電源ケーブルを抜いて、接続し直します。 ㊦『セットアップガイド』 電気が供給されているか、ブレーカなどを確認します。
ブランク状態ではないですか？	リモコンの  を押してブランク状態を解除します。
映像信号は入力されていますか？	接続している機器の電源が入っているか確認します。環境設定メニューの「メッセージ表示」を「オン」に設定すると映像信号に関するメッセージが表示されます。 ㊦「設定」→「オンスクリーン表示設定」→「メッセージ表示」p.20
映像の信号形式の設定は合っていますか？	環境設定メニューの「ビデオ信号方式」で機器の信号方式に合ったものに設定してください。 ㊦「設定」→「入力信号選択」→「ビデオ信号方式」p.20
環境設定メニューの設定が間違っていないですか？	全初期化してみてください。㊦ p.20

接続の作業を、本機やコンピュータの電源が入っている状態で行いましたか？ コンピュータ投写時のみ	電源を入れた状態で接続を行うと、コンピュータの映像信号を外部に切り替える[Fn] (ファンクション) キーが使えないことがあります。接続しているコンピュータと本機の電源を入れ直してください。
コンピュータ表示の出力先が、コンピュータ付属の画面のみに設定されていませんか？ コンピュータ投写時のみ	外部に映像信号を出力させます。外部のみ、または外部と付属のモニタ両方同時に出力されるように設定を切り替えてください。☞ コンピュータの『取扱説明書』「外部出力のしかた」や「外付けモニタへ出力のしかた」など

■「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

映像の信号形式の設定は合っていますか？	コンポジットビデオ▶、S-ビデオ▶入力時 環境設定メニューの「ビデオ信号方式」を「オート」に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。 ☞ 「設定」→「入力信号選択」→「ビデオ信号方式」 p.20
	[Input A]端子、[D4]端子に接続している場合 環境設定メニューの「入力信号選択」を接続している機器の信号方式に合わせて設定します。☞ 「設定」→「入力信号選択」 p.20 リモコンの (Input A)、 (D4) で切り替えることもできます。 ☞ 『セットアップガイド』
映像信号の周波数や解像度が対応するモードですか？ コンピュータ投写時のみ	環境設定メニューの「入力解像度」で入力中の映像信号を確認し、「対応解像度一覧」で対応しているか確認してください。 ☞ 「情報」→「入力解像度」 p.15 ☞ 対応解像度一覧 p.40

■「映像信号が入力されていません。」と表示される

ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☞ 『セットアップガイド』
接続した映像入力端子を正しく選択していますか？	リモコンの (D4)、 (Input A)、 (Input B)、 (S-Video)、 (Video) か操作パネルの Source で映像を切り替えます。☞ 『セットアップガイド』
接続している機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ	映像信号がコンピュータの液晶モニタや付属モニタ以外(外部)にも出力されるように切り替えます。外部に映像信号を出力すると、液晶モニタや付属モニタに表示されないモデルもあります。☞ コンピュータの『取扱説明書』「外部出力のしかた」や「外付けモニタへ出力のしかた」など
	本機やコンピュータの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピュータの映像信号を外部に切り替える[Fn] (ファンクション) キーが使えないことがあります。本機およびコンピュータの電源を入れ直してください。☞ 『セットアップガイド』

■ぼやける、ピントが合わない

ピント調整しましたか？	ピント調整を行います。☞ 『セットアップガイド』
レンズカバーが付いていませんか？	レンズカバーを外します。
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲は16:9スクリーンサイズの場合は87cm～1365cm、4:3スクリーンサイズの場合は108cm～1672cmです。この範囲で設置してください。☞ 『セットアップガイド』
台形補正の調整値を大きくしていませんか？	本機の傾きを小さくして台形補正の調整値を小さくしてください。☞ 『セットアップガイド』

レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。
----------------	--

■ ノイズが入る、乱れる

映像の信号形式の設定は合っていますか？	コンポジットビデオ ^㉞ 、S-ビデオ ^㉞ 入力時 環境設定メニューの「ビデオ信号方式」を「オート」に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。 ㉞ 「設定」→「入力信号選択」→「ビデオ信号方式」p.20
	[InputA]端子、[D4]端子に接続している場合 環境設定メニューの「入力信号選択」を接続している機器の信号方式に合わせて設定します。㉞ 「設定」→「入力信号選択」p.20 リモコンの (Input A)、(D4) で切り替えることもできます。 ㉞ 『セットアップガイド』
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ㉞ 『セットアップガイド』
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。増幅機器などを接続して確認してください。
「同期 ^㉞ ・トラッキング ^㉞ 」は正しく調整されていますか？ コンピュータ、RGBビデオ 投写時のみ	本機は自動調整機能で最適な状態で投写します。ただし信号によっては、自動調整を行っても正しく調整されないものもあります。この場合は、環境設定メニューの「トラッキング」、「同期」で調整します。 ㉞ 「映像」→「画質調整」→「トラッキング」、「同期」p.16
解像度の選択は正しいですか？ コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 ㉞ 「対応解像度一覧」p.40、コンピュータの『取扱説明書』など

■ 切れる(大きい)、小さい

アスペクトは正しく選択していますか？	(Aspect) を押して入力信号に合ったアスペクトを選択してください。㉞ p.8 字幕付きの映像を「ズーム」で投写している場合は、環境設定メニューの「ズーム字幕調整」で調整します。㉞ p.18
「表示位置」は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「表示位置」で調整します。 ㉞ 「設定」→「画面調整」→「表示位置」p.18
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ コンピュータ投写時のみ	接続しているコンピュータのコントロールパネルの「画面のプロパティ」で、デュアルディスプレイの設定をしていると、プロジェクターでコンピュータ画面の映像が半分くらいしか表示できません。コンピュータ画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除します。 ㉞ コンピュータのビデオドライバの『取扱説明書』
解像度の選択は正しいですか？ コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 ㉞ 「対応解像度一覧」p.40、コンピュータの『取扱説明書』など

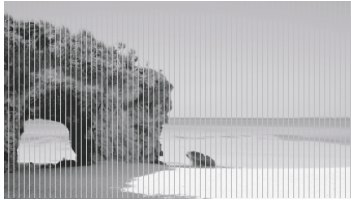
■ 色合いが違ふ

映像の信号形式の設定は合っていますか？	コンポジットビデオ[▶]、S-ビデオ[▶]入力時 環境設定メニューの「ビデオ信号方式」を「オート」に設定していても投写できないときは、機器に合った信号方式に設定します。 ☞「設定」→「入力信号選択」→「ビデオ信号方式」 p.20 [InputA]端子、[D4]端子に接続している場合 環境設定メニューの「入力信号選択」を、接続している機器の信号方式に合わせて設定します。☞「設定」→「入力信号選択」 p.20 リモコンの 、 で切り替えることもできます。 ☞『セットアップガイド』
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☞『セットアップガイド』
コントラスト[▶]は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」、または「白レベル」を調整してください。☞「映像」→「画質調整」→「入力調整」 p.16
適切なカラー調整に設定されていますか？	環境設定メニューの「カラー調整」を調整してください。 ☞「映像」→「カラー調整」 p.17
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ ビデオ機器投写時のみ	環境設定メニューの「色の濃さ」、「色合い」を調整してください。 ☞「映像」→「画質調整」→「色の濃さ」、「色合い」 p.16

■ 暗い

映像の明るさは正しく設定されていますか？	環境設定メニューの「入力調整」、「明るさ」を設定してください。 ☞「映像」→「画質調整」→「入力調整」、「明るさ」 p.16
コントラスト[▶]は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」、または「白レベル」を調整してください。☞「映像」→「画質調整」→「入力調整」 p.16
ランプの寿命ではありませんか？	ランプの寿命が近づくとき映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。☞ p.36

■ 投写映像全体に縦線が表示される

「液晶パネル調整」を行いましたか？	環境設定メニューの「液晶パネル調整」で「縦線調整R」、「縦線調整G」、「縦線調整B」を調整してください。調整の方法 ☞ p.38 例:) 縦線が表示されている映像  → 調整後の映像 
--------------------------	---

■ 自動的に投写が消える

「スリープモード」が働いていませんか？	映像信号が入らない状態で約30分間操作しないと、ランプが自動的に消灯し、スタンバイ状態になります。リモコンの  か、操作パネルの  を押すと電源が入ります。「スリープモード」を働かせないときは設定を「オフ」にします。 ☞「設定」→「動作設定」→「スリープモード」 p.19
----------------------------	---

投写開始時のトラブル

■ 電源が入らない

電源を入れましたか？	リモコンの  か、操作パネルの  を押します。
「チャイルドロック」を「オン」に設定していませんか？	環境設定メニューの「チャイルドロック」を「オン」に設定している場合は、操作パネルの  を約3秒間押し続けるか、リモコンの  を押します。☞「設定」→「動作設定」→「ロック設定」→「チャイルドロック」p.19
「キーロック」を「オン」に設定していませんか？	環境設定メニューの「キーロック」を「オン」に設定していると、操作パネルのボタンはすべて無効になります。リモコンの  を押します。 ☞「設定」→「動作設定」→「ロック設定」→「キーロック」p.19
インジケータがすべて消灯していませんか？	本機の電源ケーブルを抜いて、接続し直します。 ☞『セットアップガイド』 電気が供給されているか、ブレーカなどを確認します。
電源ケーブルを触ると、インジケータが点いたり消えたりしますか？	本機の電源を切り、電源ケーブルを抜いてから差し直します。それでも直らないときは、電源ケーブルが故障している可能性があります。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。☞裏表紙

リモコンでのトラブル

■ リモコンで操作できない

リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。 操作可能範囲は、左右30°、上下30°です。 ☞『セットアップガイド』
プロジェクターから離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約10mです。☞『セットアップガイド』
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きでセットします。 ☞『セットアップガイド』

お手入れの方法

お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明します。

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

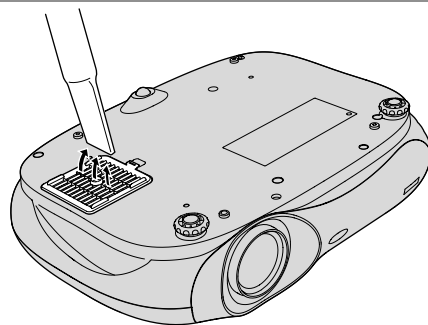


掃除を行う前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

エアフィルタの掃除

エアフィルタにホコリがたまっていたり、「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルタの掃除や交換を行ってください。」とメッセージが表示されたときは、エアフィルタの掃除を行ってください。

エアフィルタのホコリは、本機を裏返して、掃除機で吸い取ります。

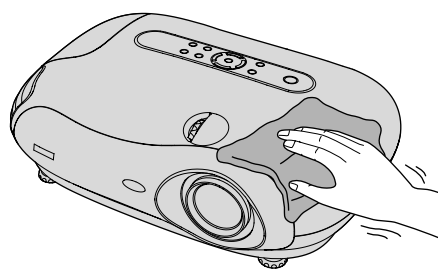


エアフィルタにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。約3ヶ月に一度はエアフィルタの掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。

本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。



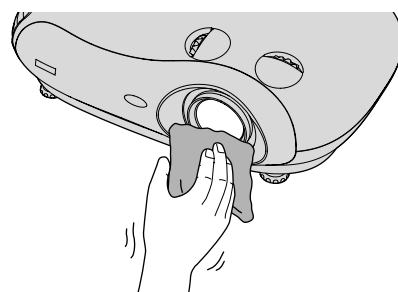
ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどで軽くふき取ってください。



レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。



消耗品の交換時期

エアーフィルタの交換時期

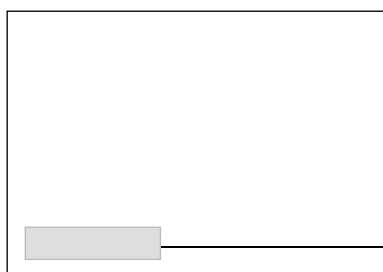
エアーフィルタが汚れたり、壊れたとき

オプションの「エアーフィルタ」と交換してください。

☞「付録 オプション品一覧」p.39

ランプの交換時期

- 投写開始時に、「投写ランプを交換してください。」とメッセージが表示されたとき



メッセージが表示されます。

- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき



ポイント

- 初期の明るさや画質を維持するため、使用時間が最短で約1600時間を経過すると、ランプ交換メッセージが表示されます。メッセージの表示時間はカラーモード設定などお使用の状況により変わります。
交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものもあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお奨めします。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンOAサプライ株式会社フリーダイヤル0120-251528でお買い求めください。

消耗品の交換

エアフィルタの交換方法



ポイント

使用済みのエアフィルタは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

枠部分の材質:

ABS樹脂

フィルタ部分の材質:

ポリプロピレン

1 電源を切りクールダウンが終了するのを待ち(約30秒間)、電源ケーブルを外します。

2 エアフィルタカバーを外します。

- ①つまみに指をかけて
- ②上に引きます



ランプの交換方法

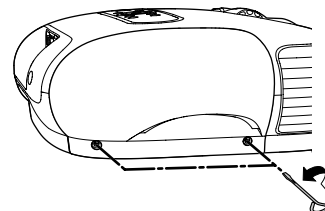


注意

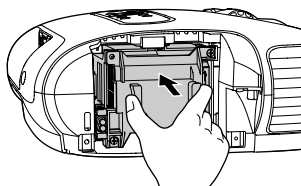
ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊りで使用している場合は、天吊りユニットから外して交換してください。天吊りのまま交換する場合は、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーの真下に立たずに、横からそっと取り外してください。

1 電源を切りクールダウンが終了するのを待ち(約30秒間)、電源ケーブルを外します。
※ランプが冷えるまで待ちます(約1時間)。

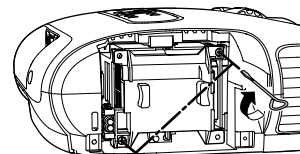
2 ランプカバー固定ねじをゆるめます。



6 新しいランプを取り付けます。
向きを合わせて押し込みます



7 ランプ固定ねじをしっかり締めます。



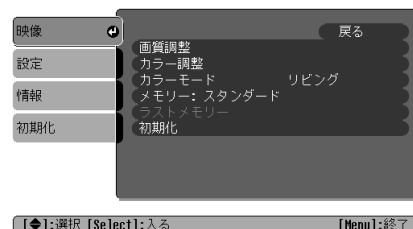
ランプ点灯時間初期化

ランプ交換をした後は、必ずランプ点灯時間の初期化をしてください。

本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、このカウンタを元にランプ交換のメッセージを表示します。

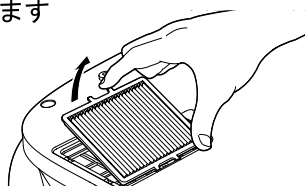
1 **[On]**を押して電源を入れます。

2 **[Menu]**を押して環境設定メニューを表示します。



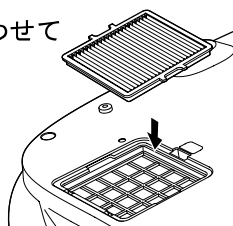
3 古いエアークフィルタを取り外します。

片方のリブに指をかけて持ち上げます

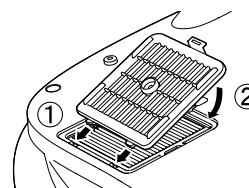


4 新しいエアークフィルタを取り付けます。

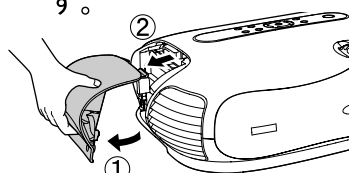
向きを合わせてください



5 エアークフィルタカバーを取り付けます。

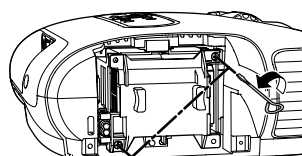


3 ランプカバーを外します。

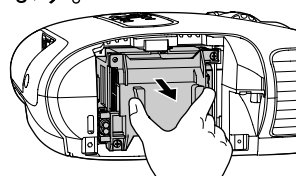


下から少し持ち上げるように外します

4 ランプ固定ねじをゆるめます。

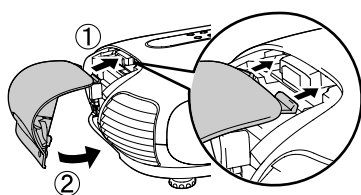


5 古いランプを取り出します。



まっすぐ引き抜きます

8 ランプカバーを取り付け、ランプカバー固定ねじを締めます。



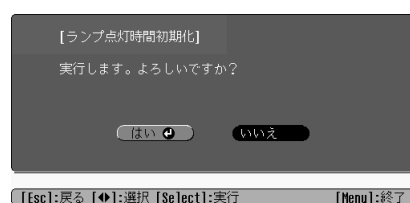
注意

- ランプやランプカバーは確実に取り付けてください。本機は安全のため取り付けが不十分だとランプが点灯しません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の蛍光管の破棄ルールに従って廃棄してください。

3 「初期化」→「ランプ点灯時間初期化」を選択します。



4 「はい」を選択して を押して実行します。



液晶パネル調整の方法

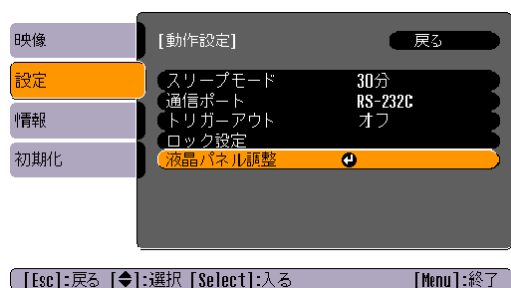
本機をお使いいただいていると、投写映像に縦方向の線が表示されることがあります。この縦線が気になる場合は、以下の操作で調整します。

操作

以下の操作を行うときは、次の点にご留意ください。

- 「液晶パネル調整」で調整した後は、「初期化」「全初期化」を行っても初期値に戻りません。縦方向の線が気になる場合に、調整してください。
- 電源をオンにしてランプ点灯後、約10分経過してから下記の操作を始めてください。
- 下記の調整を行う際は、部屋を暗くして行うとより正確に調整が行えます。
- 映像機器を接続していない状態でも、調整できます。
- 調整後、使い続けていくうちに、また縦線が気になってきたときは調整を繰り返すことでクリアな投写映像を保持できます。

1 **[Menu]** を押し、「設定」→「動作設定」→「液晶パネル調整」の順に選択します。



2 R/G/B の各色に対して縦線調整を実行します。

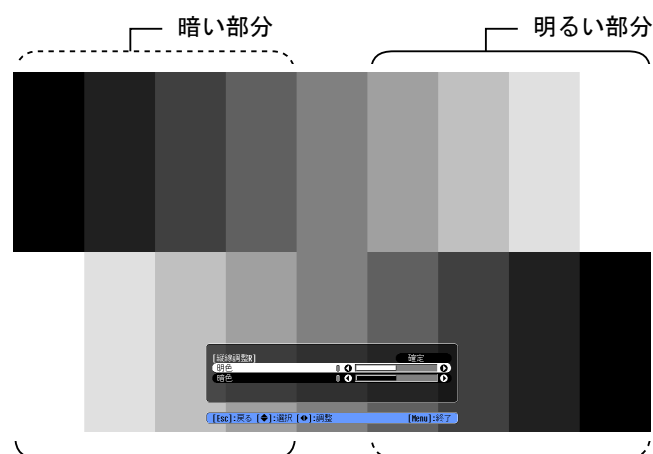
まず、「縦線調整 R」を選び **[Select]** を押します。赤色の階調画面が表示されます。



3 階調画面を確認しながら、縦線が目立つ方から調整します。明るい部分の縦線が目立つ場合は、まず「明色」の調整をします。

その後、階調画面を確認しながら、暗い部分の縦線が改善されるように「暗色」の調整をします。

両方の調整が終了したら、「確定」を選び **[Select]** を押します。



4 手順の **2 ~ 3** を繰り返して「縦線調整 G」と「縦線調整 B」を行います。

5 すべての調整が終了したら、**[Menu]** を押して環境設定メニューを終了します。

オプション品一覧

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2004年9月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

交換用ランプ ELPLP28

(ランプ1個)
使用済みランプと交換します。

エアークフィルタ ELPAF04

(エアークフィルタ1枚)
使用済みのエアークフィルタと交換します。

70型三脚スクリーン ELPSC13

三脚ワイドスクリーンです。
(アスペクト16:9)

80型スプリングローラー式スクリーン ELPSC15

巻き上げ式のスクリーンです。
(アスペクト16:9)

スクリーンスタンド ELPSCST01

80型スプリングローラー式スクリーン用のスタンドです。

ソフトキャリングケース ELPKS51

ハンドキャリングするときに使います。

天吊り金具※ ELPMB17

(天井プレート付き)
本機を天井に取り付けるときに使います。

パイプ600 (600mmホワイト)※ ELPFP07

高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。

※天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

対応解像度一覧

出画率の設定により、値が少し異なります。

コンポーネントビデオ

4:3 16:9 :アスペクト 単位:ドット

信号	解像度	アスペクトモード				
		ノーマル	スクイーズ	ズーム	スルー	スクイーズ
SDTV (525i, 60Hz) (D1)	640×480 640×360 (ズーム時)	960×720 4:3	1280×720 16:9	1280×720 16:9	596×446 4:3	794×446 16:9
SDTV (625i, 50Hz)	768×576 768×432 (ズーム時)	960×720 4:3	1280×720 16:9	1280×720 16:9	708×528 4:3	944×528 16:9
SDTV (525p) (D2)	640×480 640×360 (ズーム時)	960×720 4:3	1280×720 16:9	1280×720 16:9	596×446 4:3	794×446 16:9
SDTV (625p)	768×576 768×432 (ズーム時)	960×720 4:3	1280×720 16:9	1280×720 16:9	708×528 4:3	944×528 16:9
HDTV (750p) 16:9 (D4)	1280×720	1280×720 16:9	-	-	1176×664 16:9	-
HDTV (1125i) 16:9 (D3)	1920×1080	1280×720 16:9	-	-	-	-

コンポジットビデオ・S-ビデオ

4:3 16:9 :アスペクト 単位:ドット

信号	解像度	アスペクトモード				
		ノーマル	スクイーズ	ズーム	スルー	スクイーズ
TV (NTSC)	640×480 640×360 (ズーム時)	960×720 4:3	1280×720 16:9	1280×720 16:9	596×446 4:3	794×446 16:9
TV (PAL SECAM)	768×576 768×432 (ズーム時)	960×720 4:3	1280×720 16:9	1280×720 16:9	708×528 4:3	944×528 16:9

RGBビデオ/コンピュータ

単位: ドット

信号	解像度	アスペクトモード				
		ノーマル	スクイーズ	ズーム	スルー	スクイーズ
VGA $\Rightarrow$ 60, SDTV $\Rightarrow$ (525p)	640×480 640×360 (ズーム時)	960×720	1280×720	1280×720	640×480	853×480
VESA72/75/85, iMac [※]	640×480 640×360 (ズーム時)	960×720	1280×720	1280×720	640×480	853×480
SVGA $\Rightarrow$ 56/60/72/ 75/85/, iMac [※]	800×600 800×450 (ズーム時)	960×720	1280×720	1280×720	800×600	1066×600
XGA $\Rightarrow$ 43i/60/70/ 75/85, iMac [※]	1024×768 1024×576 (ズーム時)	960×720	1280×720	1280×720	-	-
SXGA $\Rightarrow$ 70/75/85	1152×864 1152×648 (ズーム時)	960×720	1280×720	1280×720	-	-
SXGA60/75/85	1280×960 1280×720 (ズーム時)	960×720	1280×720	1280×720	-	-
SXGA43i/60/75/ 85	1280×1024 1280×720 (ズーム時)	900×720	1280×720	1280×720	-	-
MAC13"	640×480	960×720	1280×720	1280×720	640×480	853×480
MAC16"	832×624	960×720	1280×720	1280×720	832×624	1109×624
MAC19"	1024×768	960×720	1280×720	1280×720	-	-
MAC21"	1152×870	954×720	1280×720	1280×720	-	-
SDTV (525i, 60Hz)	640×480 640×360 (ズーム時)	960×720	1280×720	1280×720	640×480	853×480
SDTV (625i, 50Hz)	768×576 768×432 (ズーム時)	960×720	1280×720	1280×720	768×576	1024×576
SDTV (625p)	768×576 768×432 (ズーム時)	960×720	1280×720	1280×720	768×576	1024×576
HDTV (750p)	1280×720	1280×720	-	-	1280×720	-
HDTV (1125i)	1920×1080	1280×720	-	-	-	-

※ VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

商品名	ホームプロジェクター EMP-TW200H		
外形寸法	440(幅)×114(高さ)×320(奥行き)mm(フット含まず)		
パネルサイズ	0.7型		
表示方式	ポリシリコンTFTアクティブマトリクス		
画素数	921,600個(横1280×縦720ドット)×3		
走査周波数	アナログ	ピクセルクロック :13.5～110MHz	
		水平	:15～92kHz
		垂直	:50～85Hz
フォーカス調整	電動式		
ズーム調整	電動式(約1:1.5)		
レンズシフト	手動(上方向最大約100%、下方向最大約50%、左右方向最大約50%)		
ランプ(光源)	UHEランプ 定格200W 型番:ELPLP28		
電源	100-240V±10%、50/60Hz AC 定格消費電力270W 待機時消費電力0.3W(100V時)		
使用温度範囲	+5℃～+35℃(結露しないこと)		
保存温度範囲	-10℃～+60℃(結露しないこと)		
質量	約5.3kg		
接続端子	D4端子	1系統	D4
	InputA端子	1系統	3RCAピンジャック
	InputB端子	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)青色
	Video端子	1系統	RCAピンジャック
	S-Video端子	1系統	ミニDIN 4pin
	Control(RS-232C)端子	1系統	D-Sub 9pin(オス)
	USB端子※	1系統	USBコネクタ(タイプB)
	Trigger out端子	1系統	3.5mmミニジャック

※ USB端子は、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。



本機にはPixelworks DNX™のICが搭載されています。

Cinema Color Editor の動作可能なコンピュータ

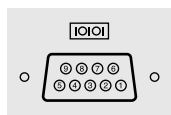
	Windows	Macintosh
OS	Windows 98SE、NT4.0 (SP6a)、Me、2000 Professional、XP Home Edition、XP Professional Editon ※ 必ずInternet Explorer Ver.5以降をインストールしてください。	Mac OS 8.6.x、9.0.4、9.1、9.2.x Mac OS X 10.1.5、10.2.x、10.3.x ※ Mac OS X上のClassic環境には対応していません。
CPU	PentiumMMX 166MHz以上 (Pentium II 233MHz以上を推奨)	Power PC G3以上 (300MHz以上を推奨)
メモリ容量	10MB以上	7MB以上
ハードディスク空き容量	2MB以上	5MB以上
ディスプレイ	XGA”(1024×768)以上の解像度、16ビットカラー以上の表示色	

RS-232C ケーブル配線

- コネクタ形状 : D-sub 9pin (オス)
- プロジェクター入力端子名 : Control (RS-232C)

<プロジェクター側>

<コンピュータ側>



<プロジェクター側> (PCシリアルケーブル) <コンピュータ側>

GND	5	5	GND
RD	2	3	TD
TD	3	2	RD
DTR	4	6	DSR
DSR	6	4	DTR

信号名	機能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ
DSR	データセットレディ
DTR	データターミナルレディ

Safety

USA

UL1950 3rd Edition

Canada

CSA C22.2 No.950-95

European Community

The Low Voltage Directive (73/23/EEC)

IEC60950 2nd Edition, +Amd.1, +Amd.2, +Amd.3, +Amd.4

EMC

USA

FCC 47CFR Part15B Class B (DoC)

Canada

ICES-003 Class B

European Community

The EMC Directive (89/336/EEC)

EN55022, 1998 Class B

EN55024, 1998

IEC61000-4-2, IEC61000-4-3, IEC61000-4-4, IEC61000-4-5, IEC61000-4-6, IEC61000-4-8, IEC61000-4-11, IEC61000-3-2, IEC61000-3-3

Australia/New Zealand

AS/NZS 3548:1995, A1:1997, A2:1997 Class B

CISPR Pub.22:1993, A1:1995, A2:1996, Class B

DECLARATION of CONFORMITY

According to 47CFR, Part 2 and 15
Class B Personal Computers and Peripherals; and/or
CPU Boards and Power Supplies used with Class B
Personal Computers

We :EPSON AMERICA, INC.
Located at : 3840 Kilroy Airport Way
MS: 313
Long Beach, CA 90806
Tel : 562-290-5254

Declare under sole responsibility that the product identified herein, complies with 47CFR Part 2 and 15 of the FCC rules as a Class B digital device. Each product marketed, is identical to the representative unit tested and found to be compliant with the standards. Records maintained continue to reflect the equipment being produced can be expected to be within the variation accepted, due to quantity production and testing on a statistical basis as required by 47CFR 2.909. Operation is subject to the following two conditions : (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Trade Name :EPSON
Type of Product :Projector
Model : EMP-TW200H

**FCC Compliance Statement
For United States Users**

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio or television reception. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause interference to radio and television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures.

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING

The connection of a non-shielded equipment interface cable to this equipment will invalidate the FCC Certification or Declaration of this device and may cause interference levels which exceed the limits established by the FCC for this equipment. It is the responsibility of the user to obtain and use a shielded equipment interface cable with this device. If this equipment has more than one interface connector, do not leave cables connected to unused interfaces. Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細に付いては市販の書籍などを利用してください。

HDTV

High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。

- ・垂直解像度750p、1125i以上
(pはプログレッシブ▶▶走査、iはインターレース▶▶走査)
- ・画面のアスペクト▶▶は16:9
- ・ドルビーデジタル音声の受信、再生(あるいは出力)

NTSC

National Television Standards Committeeの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。この方式は日本や北米、中南米で利用されています。

PAL

Phase Alternation by Lineの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。この方式はフランス以外のヨーロッパ諸国をはじめ、中国などのアジア諸国やアフリカなどで利用されています。

SDTV

Standard Definition Televisionの略で、**HDTV▶▶**の条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。

SECAM

SEquential Couleur A Memoireの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式の一つ。フランス、東ヨーロッパや旧ソ連、中東、アフリカなどで利用されています。

sRGB

各画像装置が表現する色をコンピュータのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。

SVGA

IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横800ドット×縦600ドットのものを呼びます。

SXGA

IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,280ドット×縦1,024ドットのものを呼びます。

S-ビデオ

ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。
Y(輝度信号)C(色信号)の2つの独立した信号からできている映像をいいます。

VGA

IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横640ドット×縦480ドットのものを呼びます。

XGA

IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,024ドット×縦768ドットのものを呼びます。

YCbCr

現行のテレビ(**NTSC▶▶**方式)で、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。
Y(輝度信号)CbCr(クロマ(色)信号)で表します。

YPbPr

ハイビジョンで、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y(輝度信号)PbPr(色差信号)で表します。

アスペクト

画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が16:9と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクトは4:3です。

色温度

光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかかった色合いになり、色温度が低いと赤みがかかった色合いになります。

インターレース

静止画解像度が同一の画像を放送するのに、必要な映像信号の帯域幅が、順次走査に比べて半分で済むことをいいます。

オフセット

画像を表示するときに機器などの違いによって生じる微妙な発色の変化を調整するものです。R,G,Bそれぞれについて、暗い側の色みを調整します。

ガンマ

画像を表示するときに機器などの違いによって生じる微妙な発色の変化を調整するものです。R,G,Bそれぞれについて、中間領域の色みを調整します。

クールダウン

投写によって高温になっているランプを冷却する処理です。本機の電源を切ると自動的に行われます。クールダウン中は電源プラグを抜かないでください。クールダウンが正しく行われなくなるため、ランプや本機内部に高熱がこもったままとなり、ランプの寿命が短くなったり本機の故障の原因となります。クールダウン時間は、約30秒です。

ゲイン

画像を表示するときに機器などの違いによって生じる微妙な発色の変化を調整するものです。R,G,Bそれぞれについて、明るい側の色みを調整します。

コントラスト

色の明暗の差のことです。コントラストを強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりします。

コンポーネントビデオ

ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。
ハイビジョンにおいて、Y(輝度信号)Pb、Pr(色差信号)の3つの独立した信号からできている映像をいいます。

コンポジットビデオ

ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号(**NTSC▶▶**方式)です。
カラーバー信号の中の伝送用信号Y(輝度信号)とCbCr(クロマ(色)信号)からできている映像を言います。

盗難防止用ロック

プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定できます。
kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。

七陽商事株式会社 情報機器事業部
〒103-0007東京都中央区日本橋浜町2-55-7(ナナヨービル)
Tel:03-3663-7787 Fax:03-3669-2367

同期 (Sync.)

コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。

トラッキング

コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。

プログレッシブ

1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて1画面を構成する方式をいいます。

リフレッシュレート

ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で設定します。

アルファベット

Cinema Color Editor.....	22
Control (RS-232C) 端子.....	6, 23
D4 端子.....	6, 42, SG
HDTV.....	40
InputA 端子.....	6, 42, SG
InputB 端子.....	6, 42, SG
RGB の調整.....	10, 14, 17
RGB ビデオ.....	41, SG
S-Video 端子.....	6, 42, SG
S-ビデオ.....	40, SG
SDTV.....	40
sRGB.....	9, 14
Trigger out 端子.....	6, 42
USB 端子.....	6, 23
Video 端子.....	6, 42, SG
YCbCr.....	15, 20, SG
YPbPr.....	15, 20, SG

アイウエオ

ア

明るさ.....	14, 16
アスペクト.....	8, 12, 40
アンインストール.....	23
異常 / 警告インジケータ.....	4
色合い.....	14, 16
色温度.....	10, 14, 17
色調整.....	10
色の濃さ.....	14, 16
インジケータ.....	4, 28
インストール.....	22
エアークフィルタ.....	6
エアークフィルタの交換方法.....	36
エアークフィルタの掃除.....	34
映像ソース.....	15
映像ソース切り替え.....	4, SG
映像のゆがみを補正.....	4, SG
映像メニュー.....	14, 16
液晶パネル調整.....	15, 19
オート.....	8
オーバーヒート.....	28
オプション品.....	39
オフセット調整.....	10, 14, 17
オペレーションインジケータ.....	4, SG
オンスクリーン表示設定.....	15, 19

カ

解像度.....	40
画質調整.....	14, 16
画面調整.....	15, 18
カラー調整.....	14, 17
カラーモード.....	8, 14, 17
環境設定メニュー.....	14

SG は『セットアップガイド』を示しています。

環境設定メニューの操作方法.....	21
ガンマ調整.....	11, 14, 17
吸気口.....	6
クールダウン.....	28, SG
黒レベル.....	14, 16
ゲイン調整.....	11, 14, 17
言語.....	15, 20
高度な設定.....	15, 17
コントラスト.....	14, 16
コンピュータとの接続.....	23, SG
コンポーネントビデオ.....	40, SG
コンポジットビデオ.....	40, SG

サ

サブメニュー.....	14
色相・彩度の調整.....	24
自動調整.....	14, 17, SG
シネマフィルタ.....	9
シャープネス.....	14, 16
終了.....	SG
出画率変更.....	15, 18
仕様一覧.....	42
情報メニュー.....	15
初期化.....	14, 15, 17, 20
初期化メニュー.....	15, 20
白レベル.....	14, 16
ズーム字幕調整.....	9, 15, 18
ズーム調整.....	4, SG
ズーム.....	8
スクイーズ.....	8
スクイーズスルー.....	8
スクリーンサイズ.....	SG
スタートアップスクリーン.....	15, 20
スリープモード.....	15, 19
スルー.....	8
接続端子.....	6, 42, SG
設置方法.....	SG
設置モード.....	15, 18, SG
設定メニュー.....	15, 17
セットアップレベル.....	15, 18
セレクトメニュー.....	8, 12, SG
全初期化.....	15, 20
操作ガイド.....	14, 15, 19

タ

対応解像度.....	40
台形補正.....	15, 18, SG
チャイルドロック.....	15, 19, SG
通信ポート.....	15, 19, 23
テストパターン.....	5, SG
電源ケーブル.....	SG
電源端子.....	6, SG
電池の交換時期 (リモコン).....	SG
電池の交換方法.....	SG
天吊り.....	15, 18, SG
同期.....	14, 16

同期情報.....	15
動作環境 (Cinema Color Editor)	43
動作設定.....	15, 19
投写映像サイズ.....	SG
投写映像の位置調整.....	SG
投写距離.....	SG
投写方法.....	SG
トップメニュー.....	14
トラッキング.....	14, 16
トリガーアウト.....	15, 19

ナ

入力解像度.....	15
入力信号.....	15
入力信号選択.....	15, 20
入力調整.....	14, 16
入力レベル.....	14, 16
ノイズリダクション.....	15, 17
ノーマル.....	8

ハ

背景色.....	15, 20
肌の色調整.....	10, 14, 17
ビデオ機器との接続.....	SG
ビデオ信号方式.....	15, 20
表示位置.....	15, 18
ピント調整.....	4, 5, SG
フォーカス調整.....	4, 5, SG
フルメニュー.....	14
プログレッシブ変換.....	15, 17
フロントフット.....	4, SG
本機の傾きを補正.....	4, SG
本体操作パネル.....	4
本体の掃除.....	34

マ

メッセージ表示.....	15, 20
メニュー.....	14
メニューカラー.....	15, 19
メニュー表示位置.....	15, 19
メモリー.....	5, 12
メモリー初期化.....	15, 20
メモリー:スタンダード.....	12, 14
メモリー名の編集.....	26

ラ

ラインメニュー.....	14, 21
ラストメモリー.....	12, 14, 17
ランプ点灯時間.....	15
ランプ点灯時間の初期化.....	15, 20, 36
ランプの交換方法.....	36
ランプカバー.....	4, 36
リフレッシュレート.....	15
リモコン.....	5, SG
レンズカバー.....	4, SG
レンズシフト.....	4, SG
レンズの掃除.....	34
ロック設定.....	15, 19

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様にに基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

電源高調波について

この装置は、JIS C 61000-3-2「高調波電流発生限度値」に適合しております。

商標について

IBM、DOS/V は、International Business Machines Corp. の商標または登録商標です。

Macintosh、Mac、iMac は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。

Windows は米国マイクロソフト社の商標です。

Pixelworks、DNX は Pixelworks 社の商標です。

3LCD はセイコーエプソン株式会社の商標です。

EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」<http://www.i-love-epson.co.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご利用ください。
<http://www.i-love-epson.co.jp/faq/>

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所 在 地	T E L
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス(株)	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

*修理について詳しくは、エプソンサービス(株)ホームページ<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様の希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話  **0570-090-090** 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ(株)の電話サービスの名称です。

*新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	T E L	受付拠点	引き取り地域	T E L
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州(中国地方を除く)	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く) *松本修理センターは365日受付可。

*平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通諏訪支店で代行いたします。*ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス(株)ホームページ<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

●プロジェクターインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

 **0570-004110** 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00(祝日、弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ(株)の電話サービスの名称です。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263) 54-5800までお電話ください。



愛情点検

**長年ご使用の
プロジェクターの点検を!**

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

こんな症状はありませんか?

- 電源スイッチを入れても、映像や音が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- 電源コードが傷んだ。

ご使用中止

コンセントから電源プラグを抜いて必ず取扱販売店にご相談ください。

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認ください。 <http://www.i-love-epson.co.jp/square/>

エプソンスクエア新宿	〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F 【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)
エプソンスクエア御堂筋	〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F 【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス! <http://myepson.i-love-epson.co.jp/>

▶ カンタンに質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社(ホームページアドレス <http://www.epson-supply.co.jp/>)またはフリーダイヤル0120-251528)でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

10404002



この取扱説明書は
再生紙を使用しています。



環境にやさしい大豆油インキ
を使用しています。

Printed in China
405140200
04.XX-.XA(G04)